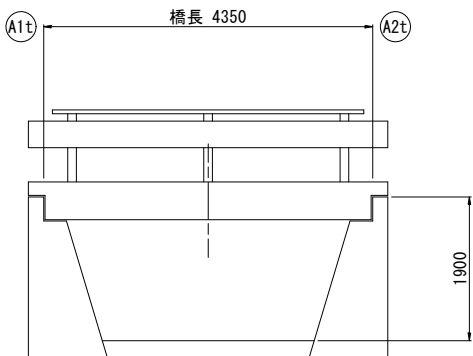


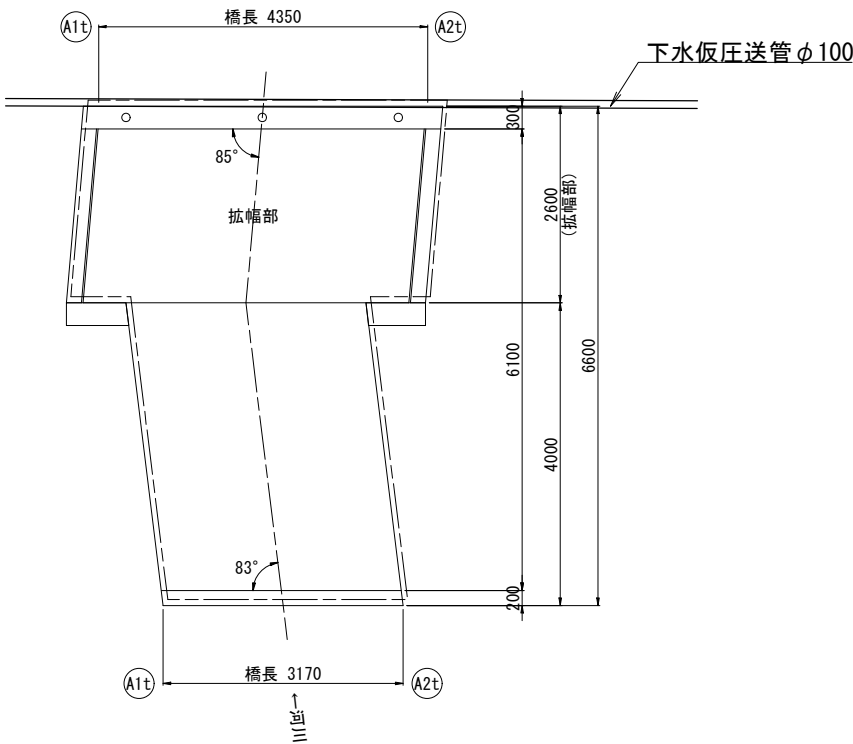
一本松橋 橋梁一般図

S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)

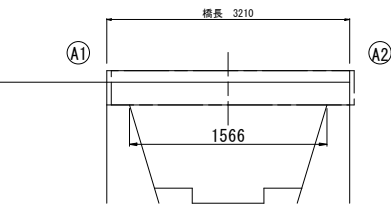
側面図：下流側
S=1:50



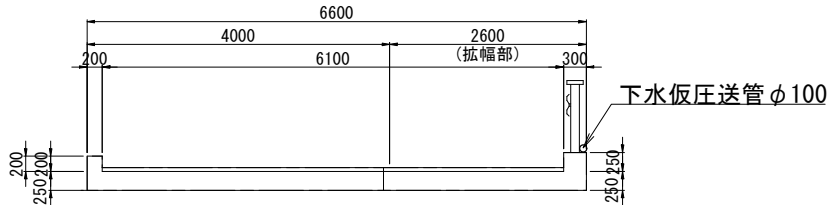
平面図
S=1:50



側面図：上流側
S=1:50

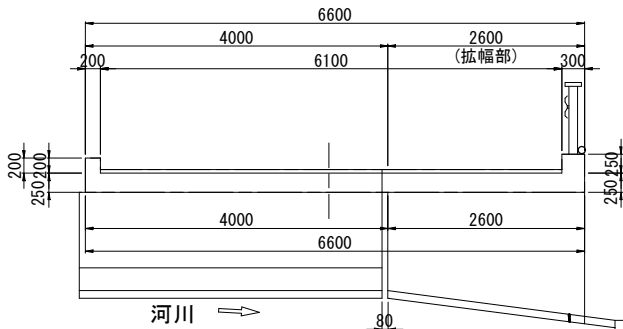


断面図
S=1:30

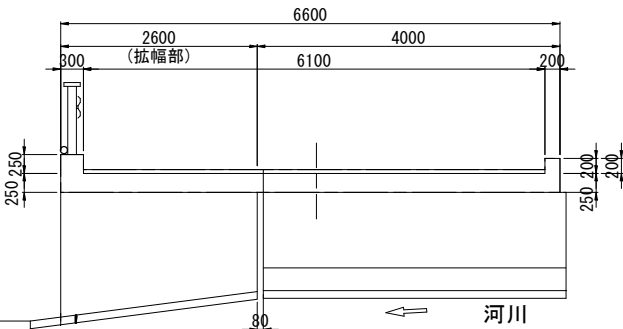


側面図
S=1:50

A1橋台側面図



A2橋台側面図



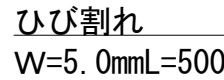
設計条件

基本条件	重要度の区分	A種の橋
	交差物件	橋ノ木川
	橋長	L=3.21m
	支間長	
	斜角	$\theta=83^{\circ} 00' 00''$
	幅員構成	W=0.30+3.05+3.05+0.20=6.60m
	舗装厚	
構造形式	架橋年次	
	活荷重	
	上部工形式	RC橋 R C 中実床版
基礎形式	下部工形式	重力式橋台
	基礎工形式	

令和 8 年度	
工事名	令和6年災 第9921号外 市道深田栃木線 一本松橋外 橋梁災害復旧工事
道路名	市道 深田栃木線 外
箇所	輪島市門前町深田 外 地内
図名	一本松橋 橋梁一般図
縮尺	1:50 (A1) 1:100 (A3)
図面番号	1/23 枚の内
輪島市	

S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)

A1橋台側面図

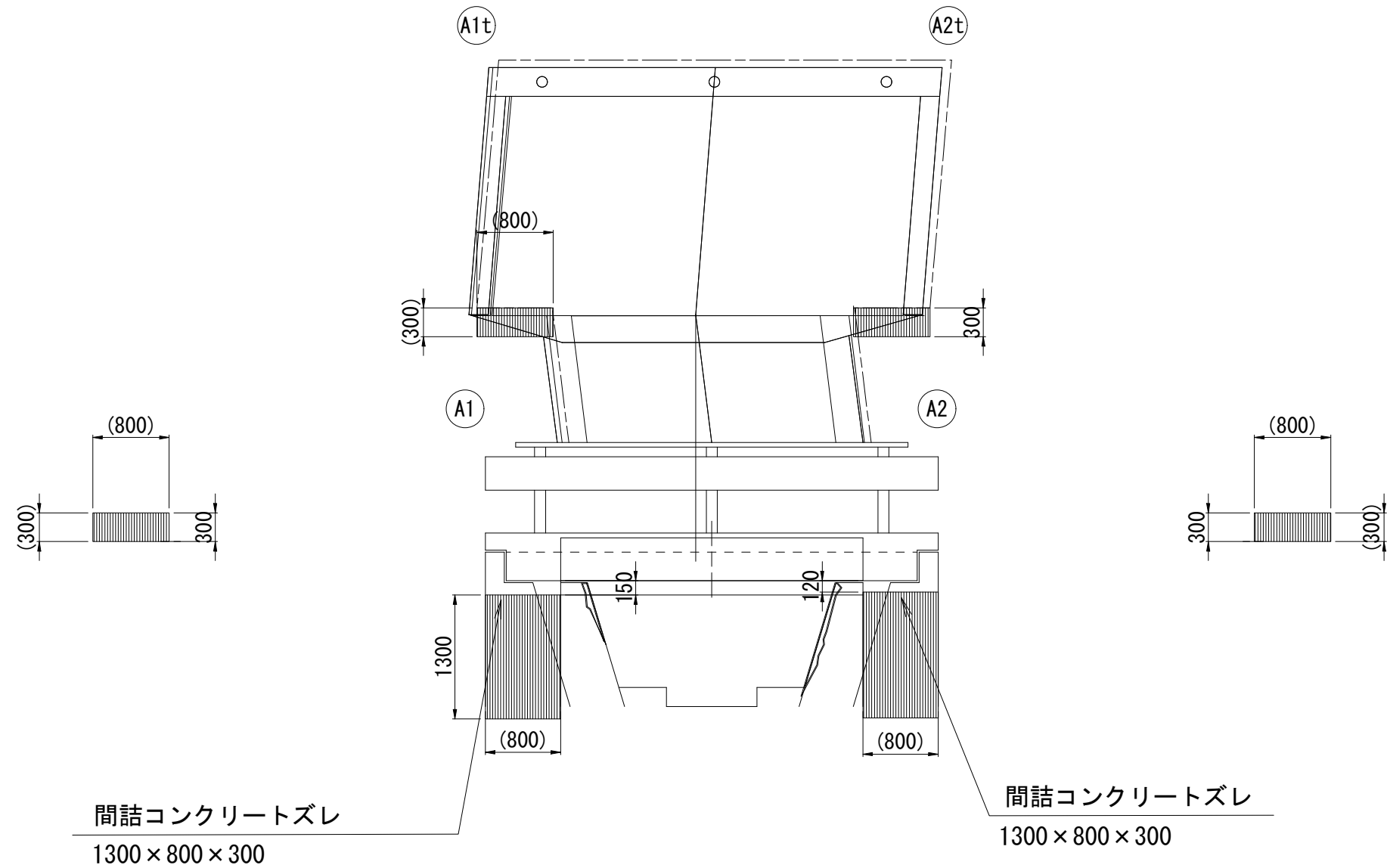


損 傷 凡 例		
ひ び わ れ	W=0.2mm以下	
	W=0.2mm~1.0mm	
	W=1.0mm以上	
剥 離		
鉄筋露出		
う き		
遊離石灰		
漏水・滯水		
欠 損		
腐 食		
そ の 他		

令和 8 年度	
工 事 名	令和6年災 第9921号外 市道深田栃木線 一本松橋外 橋梁災害復旧工事
道 路 名	市道 深田栃木線 外
箇 所	輪島市門前町深田 外 地内
図 名	一本松橋 損傷図 (2)
縮 尺	1:30 (A1) 1:60 (A3)
図面番号	2/23 枚の内
輪 島 市	

一本松橋 損傷図(2)

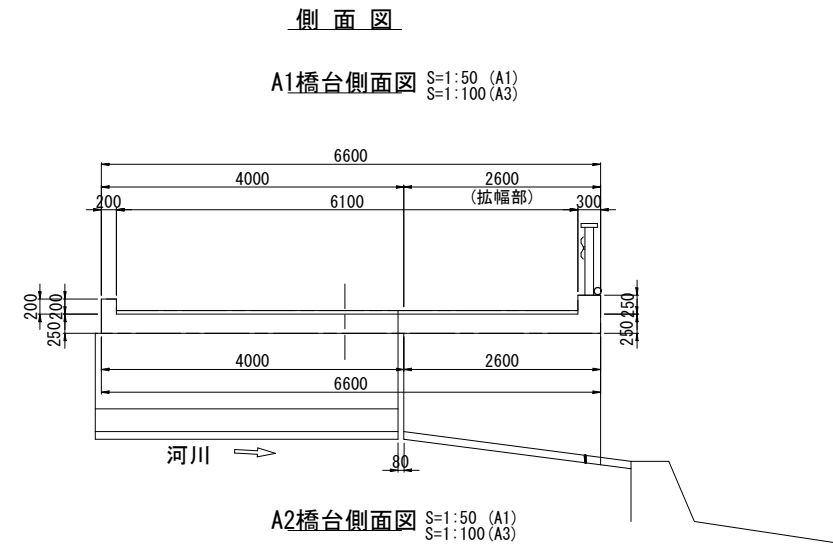
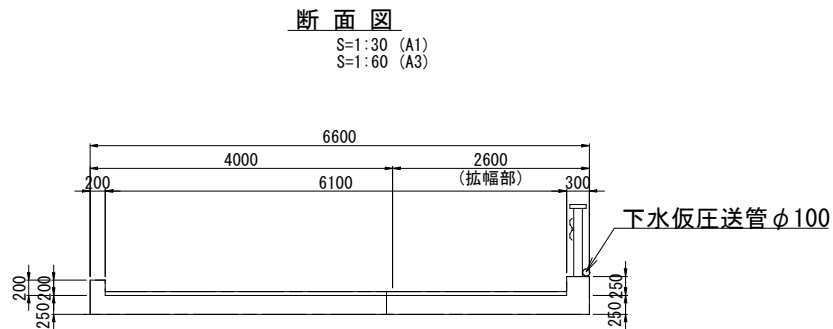
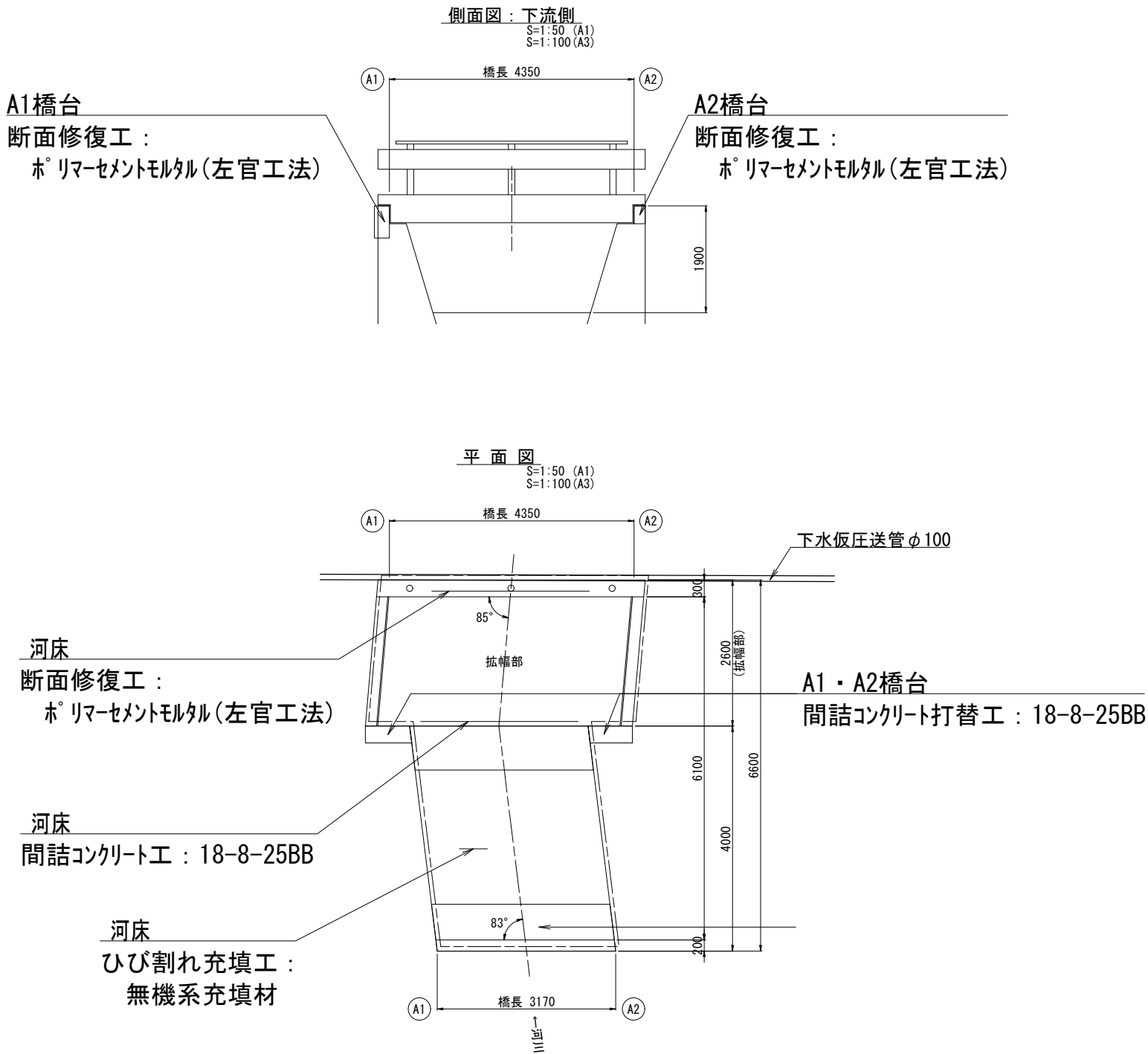
S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)



損傷凡例		
ひびわれ	W=0.2mm以下	
	W=0.2mm~1.0mm	
	W=1.0mm以上	
剥離		
鉄筋露出		
うき		
遊離石灰		
漏水・滞水		
欠損		
腐食		
その他		

令和 8 年度	
工事名	令和6年災 第9921号外 市道深田橋本線 一本松橋外 橋梁災害復旧工事
道路名	市道 深田橋本線 外
箇所	輪島市門前町深田 外 地内
図名	一本松橋 損傷図(3)
縮尺	1:30 (A1) 1:60 (A3)
図面番号	3/23 枚の内
輪 島 市	

一本松橋 補修一般図



橋梁補修工一覧表（被災後損傷）

	補修部位	工種	種別	細別	備考
下部工	躯体	断面修復工	ポリマーセメントモルタル(左官工法)		
	橋台背面	間詰コンクリート打替工	18-8-25BB		
河床	間詰部	間詰コンクリート工	18-8-25BB		
	拡幅橋側	断面修復工	ポリマーセメントモルタル(左官工法)		
	旧橋側	ひび割れ充填工	無機系充填材		

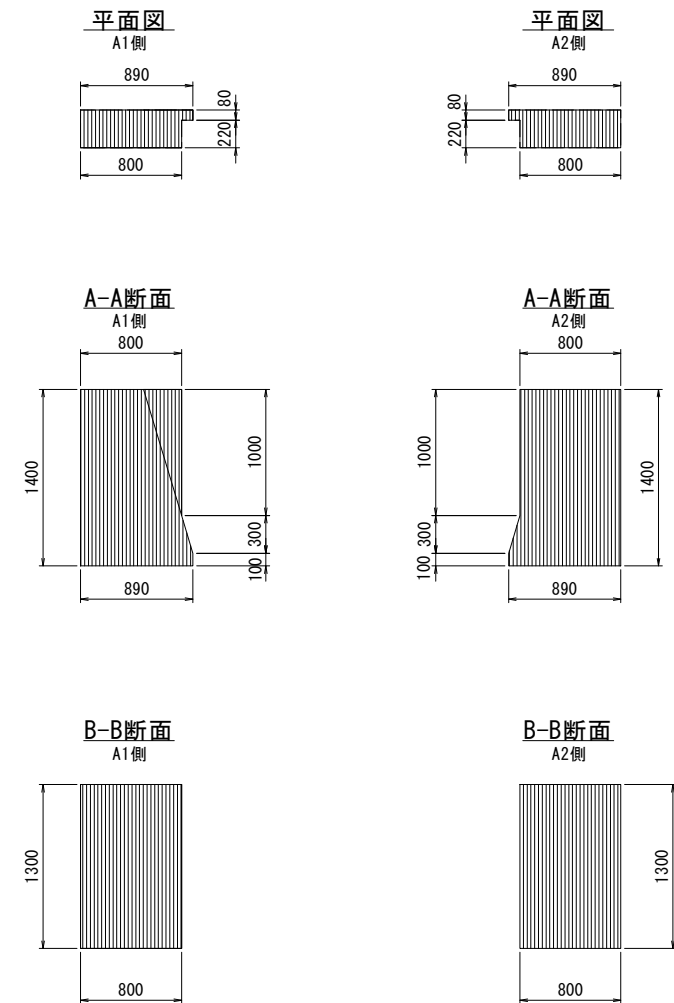
設計条件

基本条件	重要度の区分	A種の橋
	交差物件	栃ノ木川
	橋長	L=3.21m
	支間長	
	斜角	$\theta=83^{\circ}00'00''$
	幅員構成	W=0.30+3.05+3.05+0.20=6.60m
	舗装厚	
構造形式	架橋年次	
	活荷重	
	上部工形式	RC橋 R C 中実床版
	下部工形式	重力式橋台
	基礎工形式	

令和 8 年度	
工事名	令和6年災 第9921号外 市道深田栃木線 一本松橋外 橋梁災害復旧工事
道路名	市道 深田栃木線 外
箇所	輪島市門前町深田 外 地内
図名	一本松橋 橋梁一般図
縮尺	図示
図面番号	4/23 枚の内
輪 島 市	

間詰コンクリート打替工

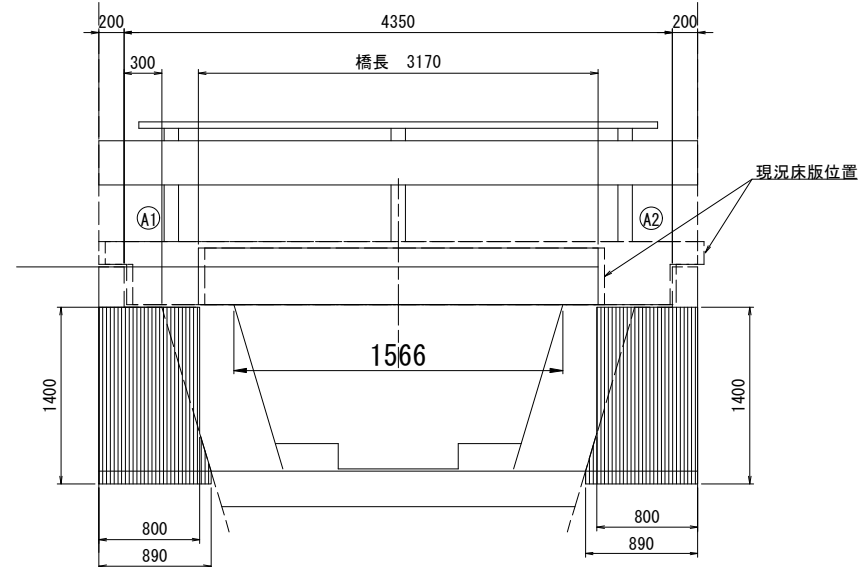
間詰コンクリート詳細図



①②間詰コンクリート打替工
1箇所当たり
 $A=1.00 \times 0.80=0.80m^2$
 $A=0.10 \times 0.89=0.09m^2$
 $A=(0.80+0.89)/2 \times 0.30=0.25m^2$
 $\Sigma A=0.80+0.09+0.25=1.14m^2$

$V1=1.14 \times 0.08=0.091m^3$
 $V2=1.30 \times 0.80 \times 0.22=0.229m^3$
 $\Sigma V=0.091+0.229=0.320m^3$

番号	体積 (m3)
①	0.320
②	0.320
計	0.640



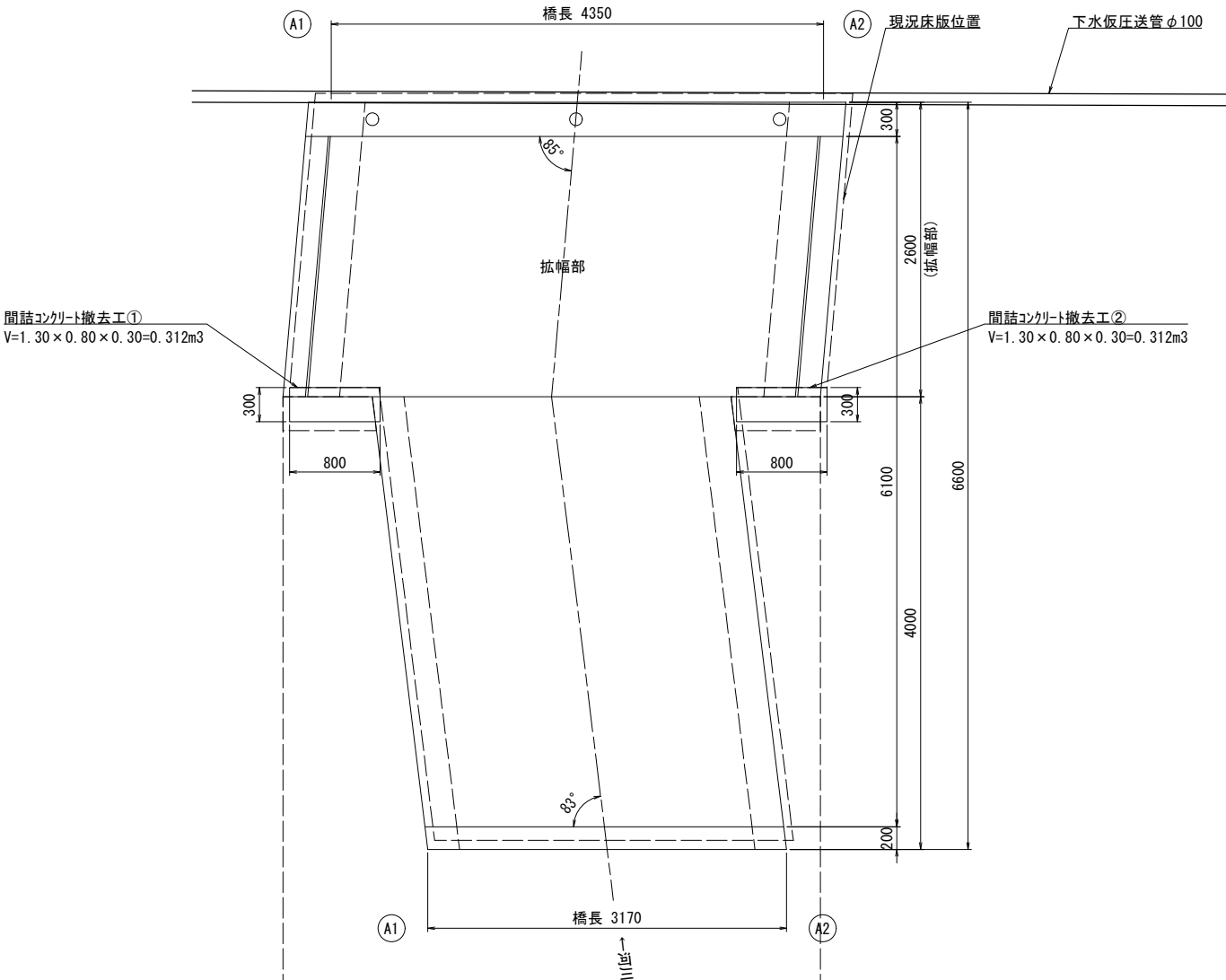
注)
1. 工事の実施にあたっては現地を必ず確認し、図面と相違がある場合は
現地を優先して製作・施工に反映させること。

令和 8 年度	
工 事 名	令和6年災 第9921号外 市道深田栃木線 一本松橋外 橋梁災害復旧工事
道 路 名	市道 深田栃木線 外
箇 所	輪島市門前町深田 外 地内
図 名	一本松橋 間詰ウカリト補修図(1)
縮 尺	1:30 (A1) 1:60 (A3)
図面番号	5 / 23 枚の内
輪 島 市	

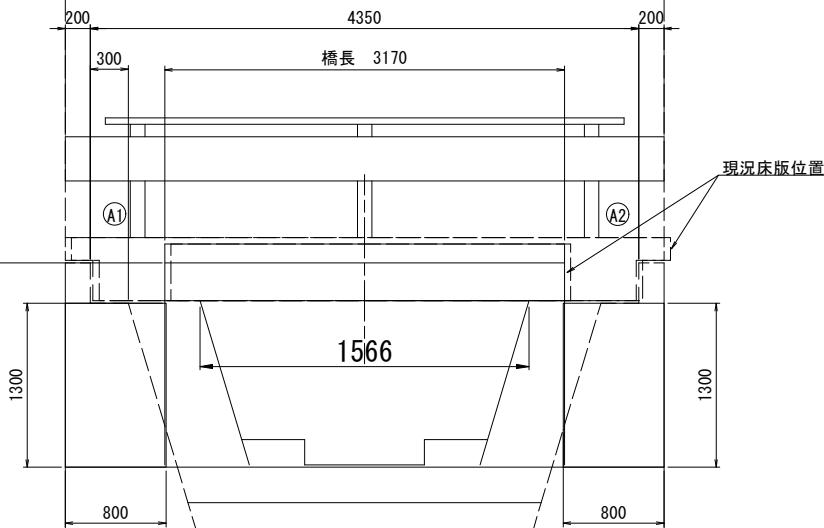
一本松橋 間詰コンクリート補修図(2) S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)

間詰コンクリート撤去

平面図



断面図



間詰コンクリート撤去数量

番号	体積 (m3)
①	0.312
②	0.312
計	0.624

注)
1. 工事の実施にあたっては現地を必ず確認し、図面と相違がある場合は
現地を優先して製作・施工に反映させること。

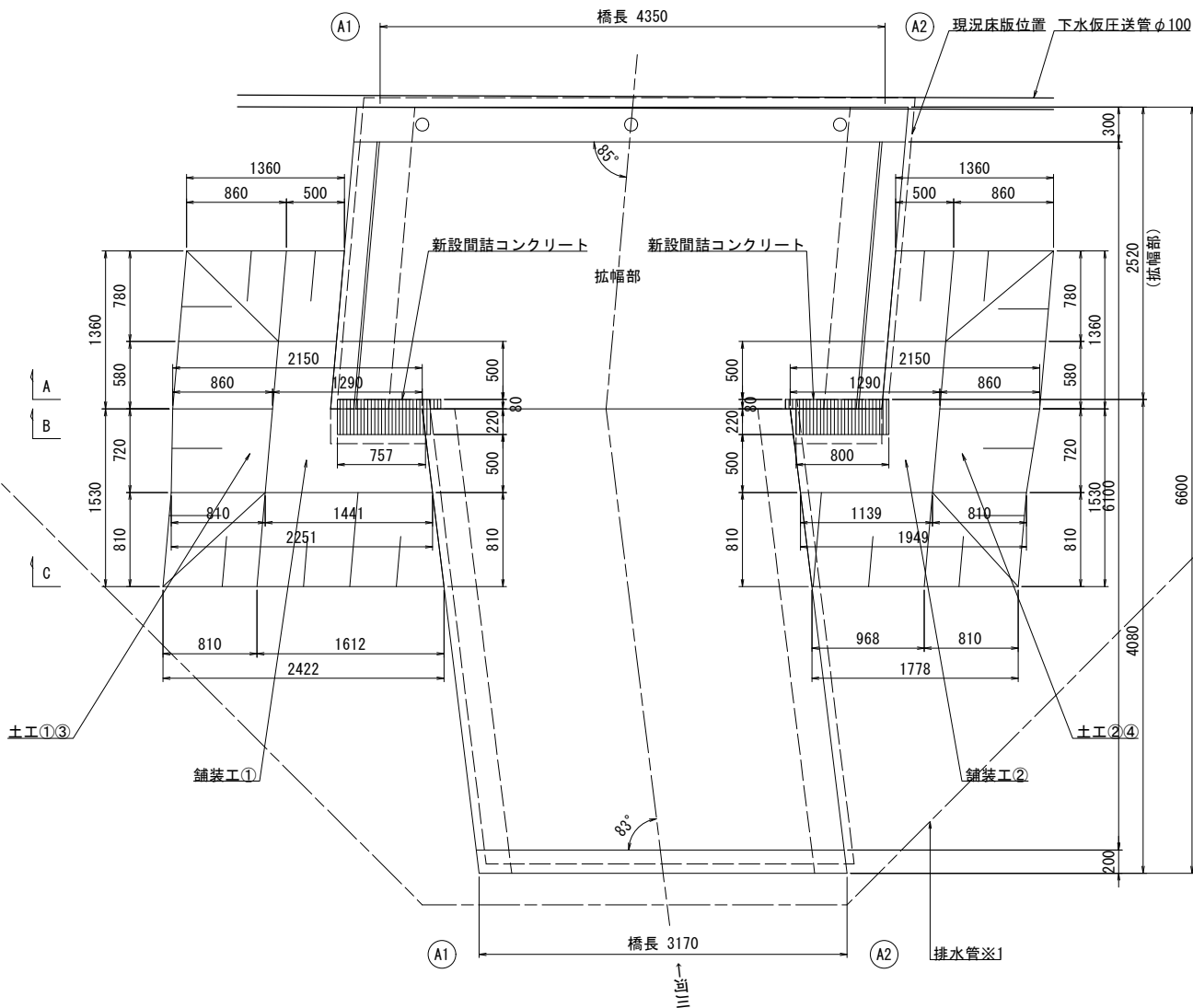
令和 8 年度	
工 事 名	令和6年災 第9921号外 市道深田栃木線 一本松橋外 橋梁災害復旧工事
道 路 名	市道 深田栃木線 外
箇 所	輪島市門前町深田 外 地内
図 名	一本松橋 間詰コンクリート補修図(2)
縮 尺	1:30 (A1) 1:60 (A3)
図面番号	6 / 23 枚の内
輪 島 市	

一本松橋 間詰コンクリート補修図(3)

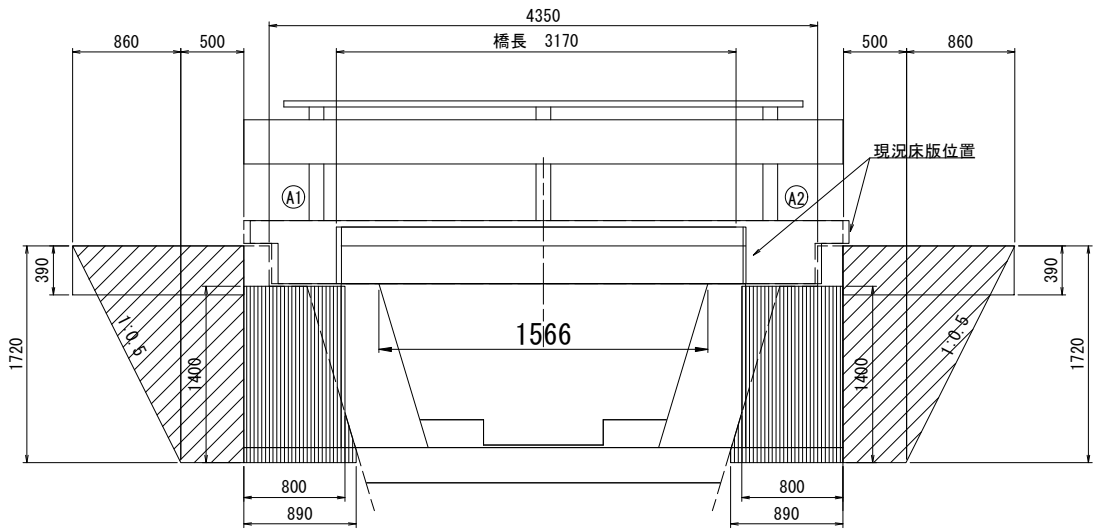
S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)

土工

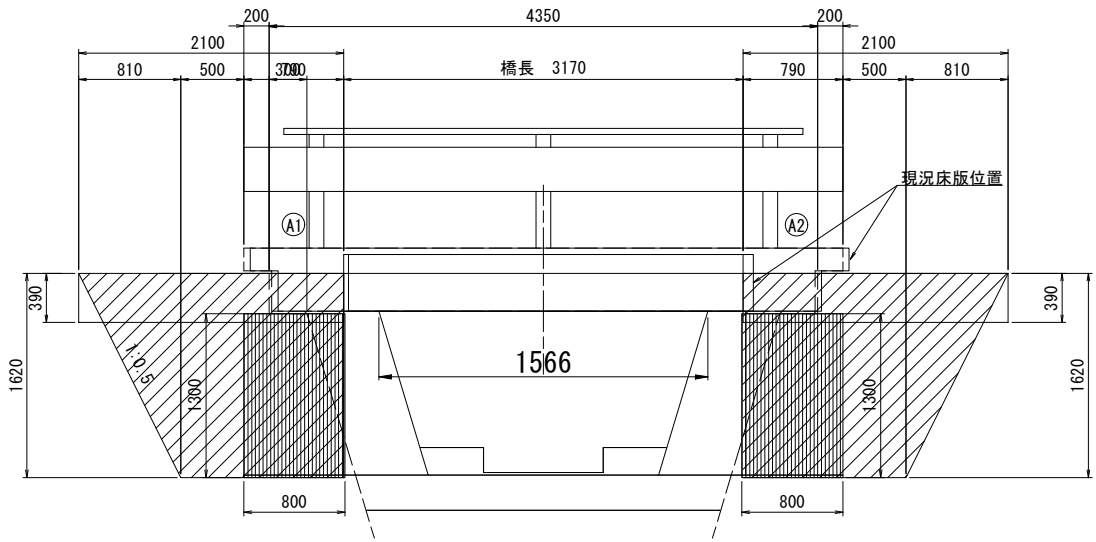
平面図



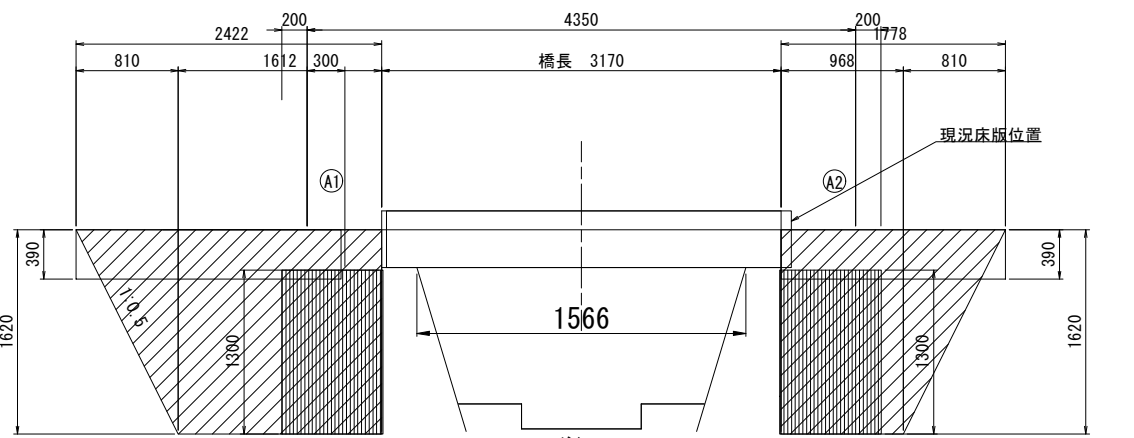
A-A断面図



B-B断面図



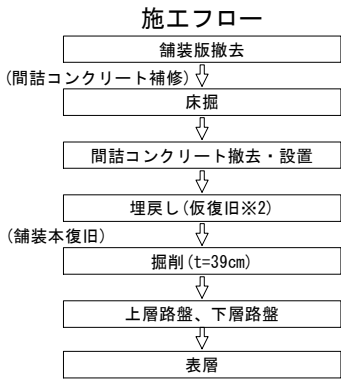
C-C断面図



舗装工
・舗装版撤去・復旧面積
①【A1側】
A1=1.36×1.36=1.85m²
A2=(2.15+2.422)/2×1.53=3.50m²
ΣA=1.85+3.50=5.35m²
②【A2側】
A1=1.36×1.36=1.85m²
A2=(2.15+1.778)/2×1.53=3.00m²
ΣA=1.85+3.00=4.85m²
・舗装切断
①【A1側】
L=1.36+1.36+1.53+2.422=6.7m
②【A2側】
L=1.36+1.36+1.53+1.778=6.0m

土工(間詰コンクリート補修)
①【A1側】
床掘(拡幅橋側)
底面 A1=0.58×0.50=0.29m²
地盤面 A2=1.36×1.36=1.85m²
V1=(0.29×1.85)/2×1.72=1.8m³
床掘(旧橋側)
底面 A3=0.72×(1.29+1.441)/2=0.98m²
地盤面 A4=1.53×(2.15+2.422)/2=3.50m²
V2=(0.98+3.50)/2×1.62=3.6m³
ΣV=1.8+3.6=5.4m³
埋戻し V=5.4-(0.22×0.757×1.30)=5.2m³
②【A2側】
床掘(拡幅橋側)
底面 A1=0.58×0.50=0.29m²
地盤面 A2=1.36×1.36=1.85m²
V1=(0.29×1.85)/2×1.72=1.8m³
床掘(旧橋側)
底面 A3=0.72×(1.29+1.139)/2=0.87m²
地盤面 A4=1.53×(2.15+1.778)/2=3.00m²
V2=(0.87+3.00)/2×1.62=3.1m³
ΣV=1.8+3.1=4.9m³
埋戻し V=4.9-(0.22×0.80×1.30)=4.7m³

土工(舗装本復旧)
③【A1側】
床掘 V1=5.35×0.39=2.1m³
④【A2側】
床掘 V2=4.85×0.39=1.9m³



舗装構成図

表層: As舗装再生密粒度(20F) t=5cm
上層: 粒度調整砕石(M40) t=15cm
下層: 再生カッシャーラン(RC40) t=19cm

舗装工数量		
番号	撤去・復旧 面積(m ²)	舗装切断 延長(m)
①	5.35	6.7
②	4.85	6.0
計	10.2	12.7

土工数量			
番号	床掘 体積(m ³)	埋戻し 体積(m ³)	床掘 体積(m ³)
①	5.4	5.2	2.1
②	4.9	4.7	1.9
計	10.3	9.9	4.0

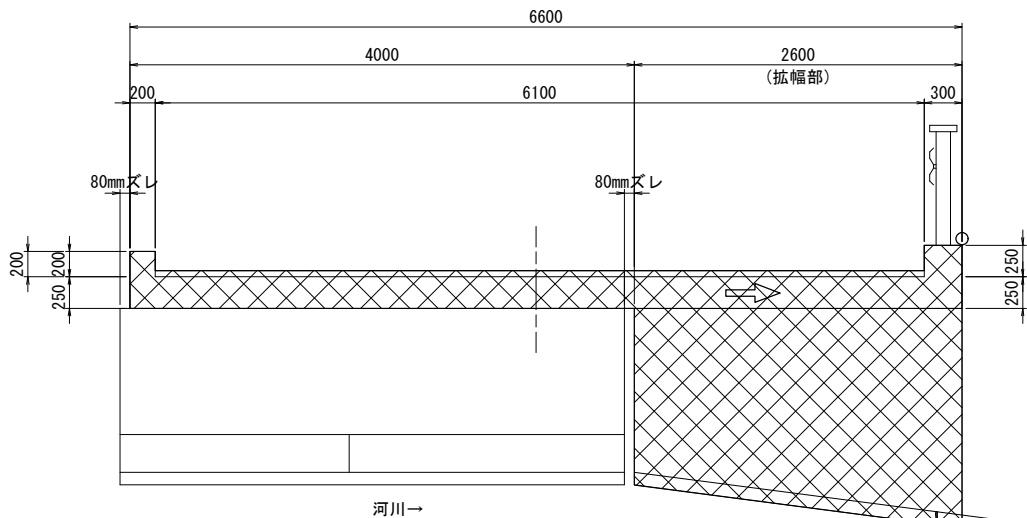
令和 8 年度	
工事名	令和6年災 第9921号外 市道深田橋本線 一本松橋外 橋梁災害復旧工事
道路名	市道 深田橋本線 外
箇所	輪島市門前町深田 外 地内
図名	一本松橋 間詰コンクリート補修図(3)
縮尺	1:30(A1) 1:60(A3)
図面番号	7 / 23 枚の内
輪 島 市	

注)
1. 工事の実施にあたっては現地を必ず確認し、図面と相違がある場合は
現地を優先して製作・施工に反映させること。
xt15:3. ※1部一点鎖線は給配水台帳記載の排水管である。
tz: 掘削の際は試掘を行い、排水管の有無を確認の上、必要に応じて掘削
範囲を変更のこと。
2. ※2部について、間詰コンクリート補修時は、埋戻しによる仮復旧とする。

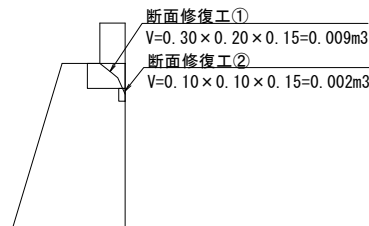
一本松橋 下部工補修図 S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)

A1橋台

正面図

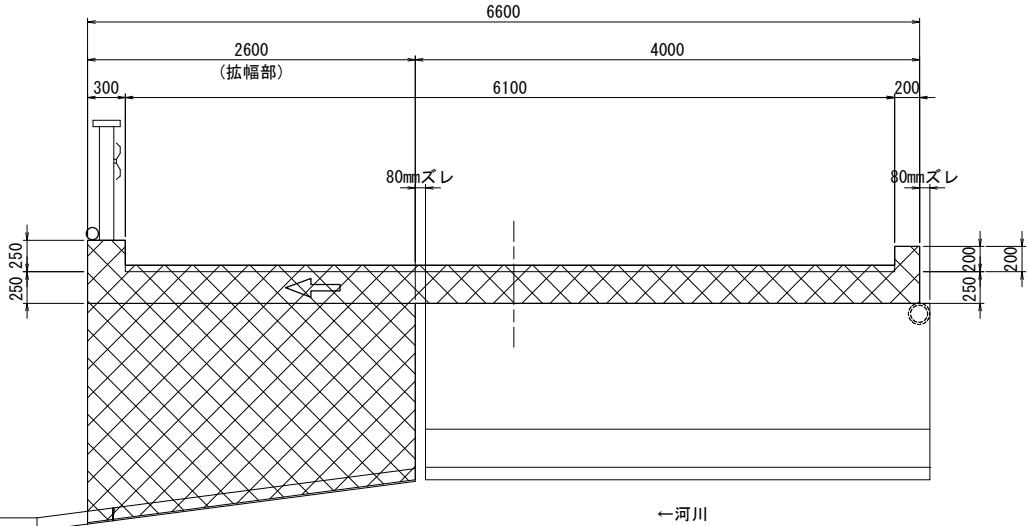


下流側側面図



A2橋台

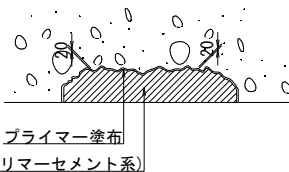
正面図



下流側側面図

断面修復工③
V=0.20×0.30×0.15=0.009m³

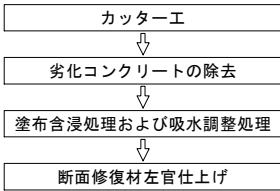
断面修復工（左官工法）
（災害復旧）



注記

- ・劣化コンクリートをはつとり、断面修復を行う。
- ・修復材料は「断面修復材性能表」に示す性能を満足すること。
- ・補修材の圧縮強度は母部材24.0N/mm²以上、付着強度1.5N/mm²以上を確保すること。
- ・はつる範囲には、カッター目地を10mm程度入れて、フェザーエッジにならないように注意すること。
- ・施工時に、補修箇所（寸法等）を再度確認すること。
- ・修復材は十分硬化したうえで次層を塗り重ねること。

断面修復工フロー



要求性能	設計及び施工条件
圧縮強度	躯体コンクリートと同様な強度特性を有すること (18.0N/mm ² 以上)
付着強度	躯体コンクリートと一体となること (1.5N/mm ² 以上)

断面修復工数量

番号	体積 (m ³)
①	0.009
②	0.002
③	0.009
計	0.020

注)

1. 工事の実施にあたっては現地を必ず確認し、図面と相違がある場合は現地を優先して製作・施工に反映させること。

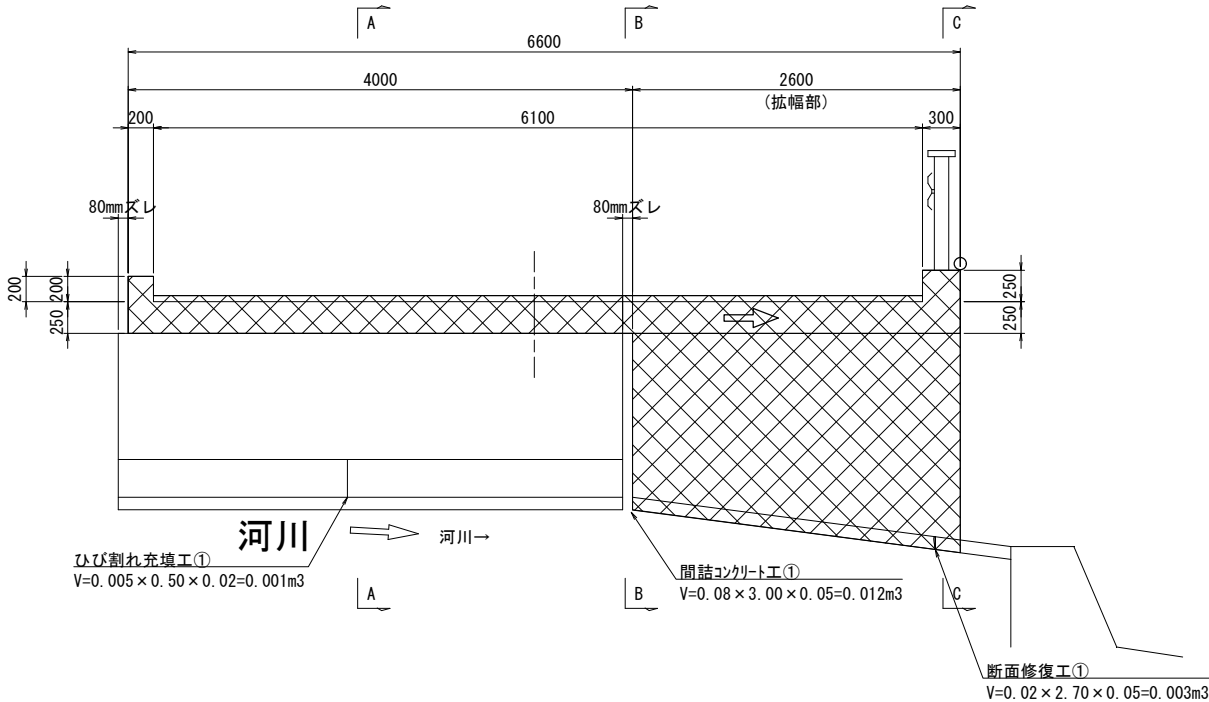
令和 8 年度	
工 事 名	令和6年災 第9921号外 市道深田橋本線 一本松橋外 橋梁災害復旧工事
道 路 名	市道 深田橋本線 外
箇 所	輪島市門前町深田 外 地内
図 名	一本松橋 下部工補修図
縮 尺	1:30 (A1) 1:60 (A3)
図面番号	8 / 23 枚の内
輪 島 市	

一本松橋 河床補修図

S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)

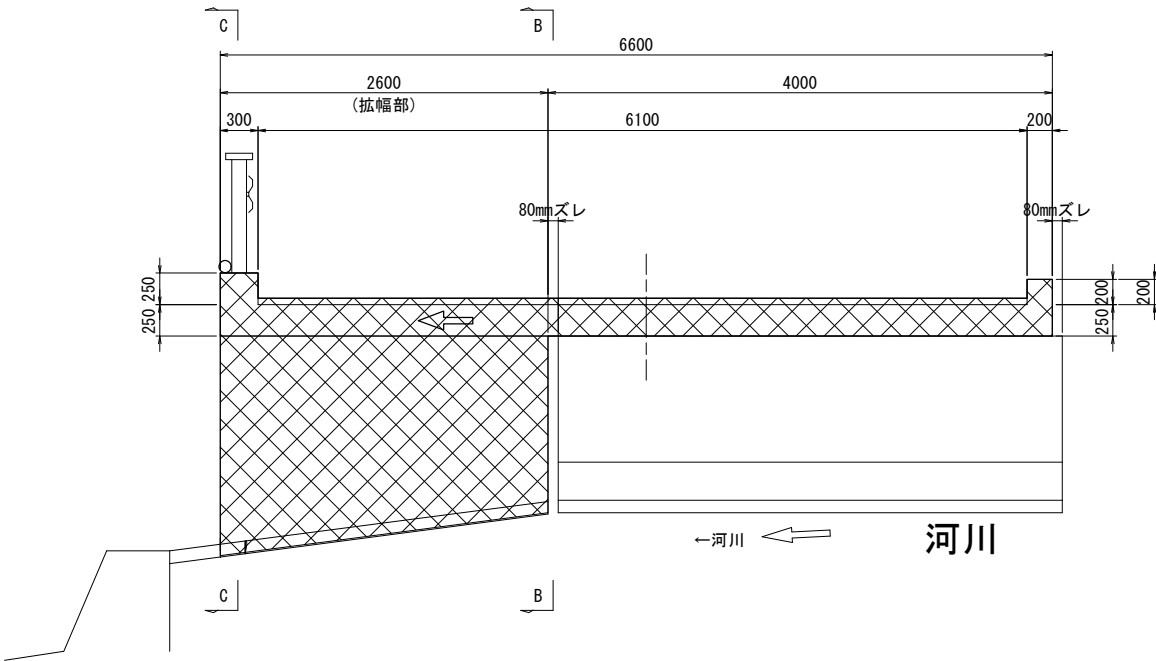
A1橋台

正面図



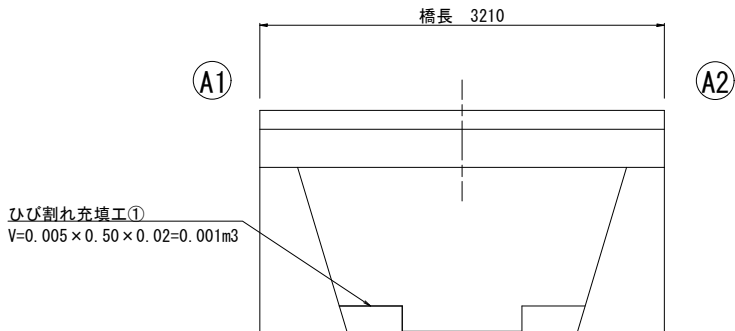
A2橋台

正面図



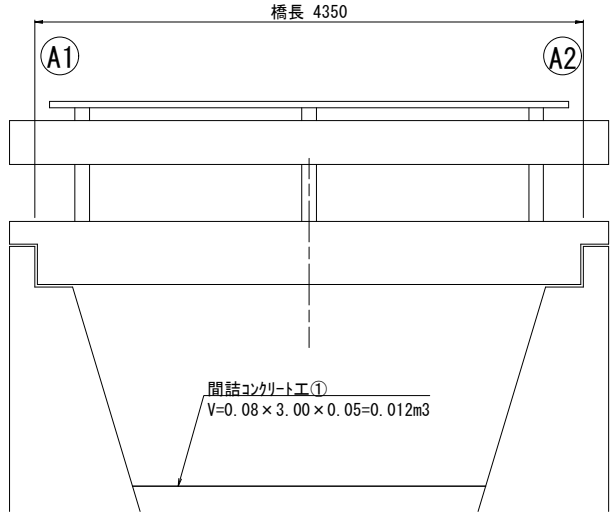
A-A断面図

(旧橋部)



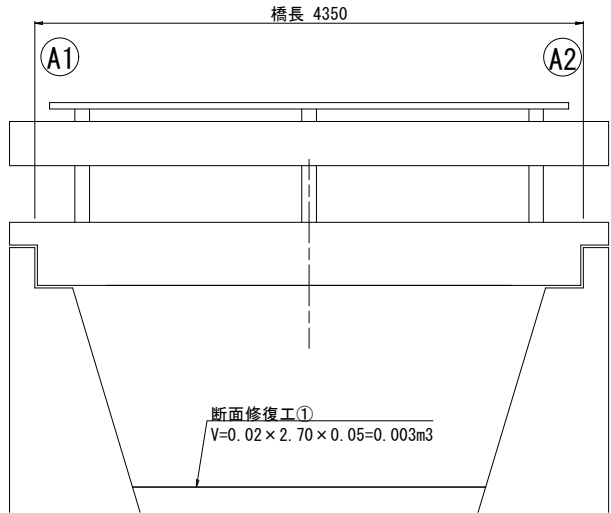
B-B断面図

(間詰部)



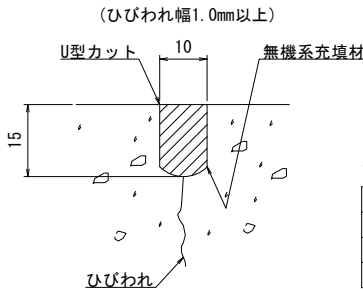
C-C断面図

(拡幅部)



ひび割れ充填工

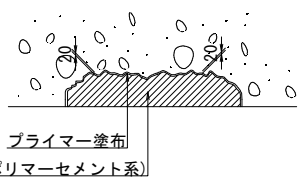
(災害復旧)



ひび割れ充填工数量	
番号	体積 (m ³)
①	0.001
計	0.001

断面修復工 (左官工法)

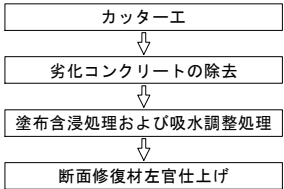
(災害復旧)



注記

- ・劣化コンクリートをはつとり、断面修復を行う。
- ・修復材料は「断面修復材性能表」に示す性能を満足すること。
- ・補修材の圧縮強度は母部材24.0N/mm²以上、付着強度1.5N/mm²以上を確保すること。
- ・はつる範囲には、カッター目地を10mm程度入れて、フェザーエッジにならないように注意すること。
- ・施工時に、補修箇所(寸法等)を再度確認すること。
- ・修復材は十分硬化したうえで次層を塗り重ねること。

断面修復工フロー



要求性能	設計及び施工条件
圧縮強度	躯体コンクリートと同様な強度特性を有すること (18.0N/mm ² 以上)
付着強度	躯体コンクリートと一体となること (1.5N/mm ² 以上)

断面修復工数量

番号	体積 (m ³)
①	0.003
計	0.003

間詰コンクリート工

(災害復旧)

間詰コンクリート工数量

番号	体積 (m ³)
①	0.012
計	0.012

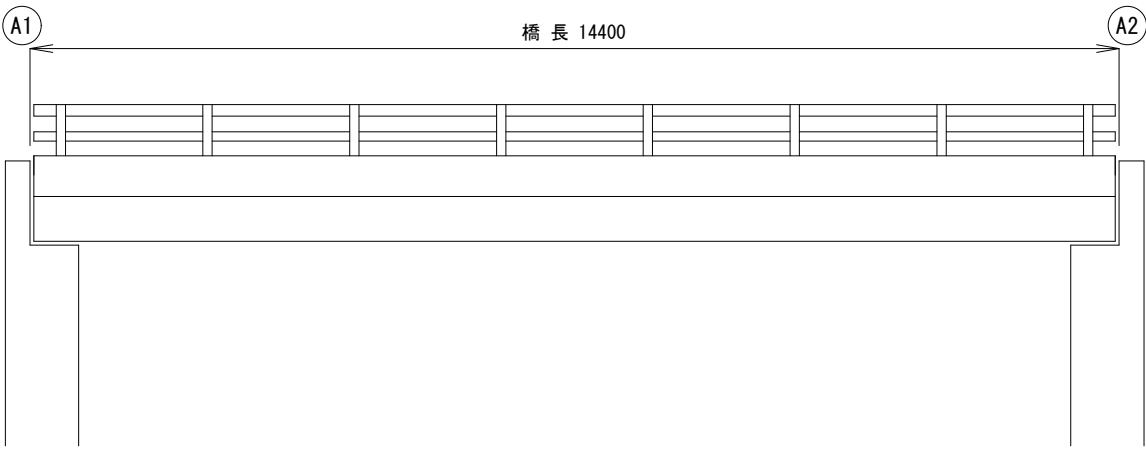
注)

1. 工事の実施にあたっては現地を必ず確認し、図面と相違がある場合は現地を優先して製作・施工に反映させること。

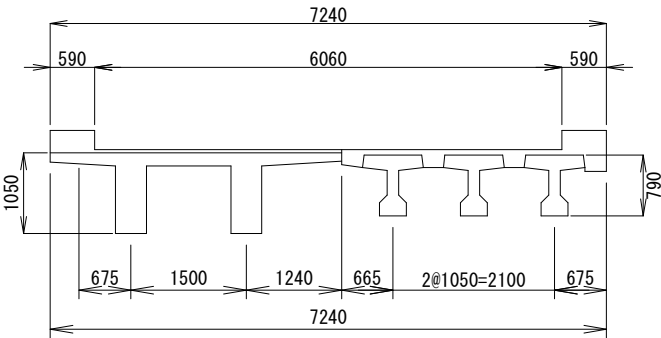
令和 8 年度	
工 事 名	令和6年災 第9921号外 市道深田橋本線 一本松橋外 橋梁災害復旧工事
道 路 名	市道 深田橋本線 外
箇 所	輪島市門前町深田 外 地内
図 名	一本松橋 河床補修図
縮 尺	1:30 (A1) 1:60 (A3)
図面番号	9 / 23 枚の内
輪 島 市	

登間佐橋 橋梁一般図 S=1:50

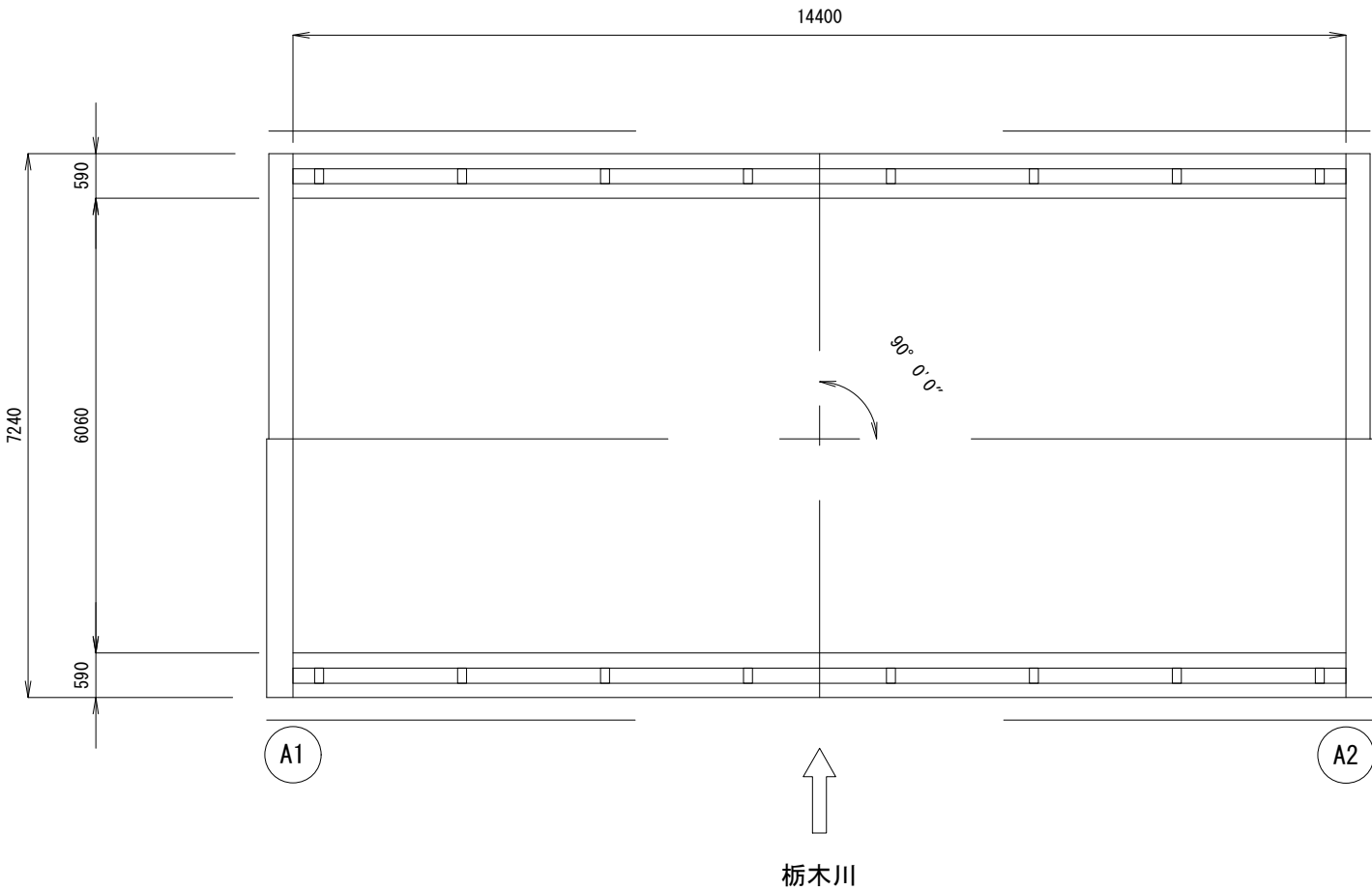
側面図



標準断面図

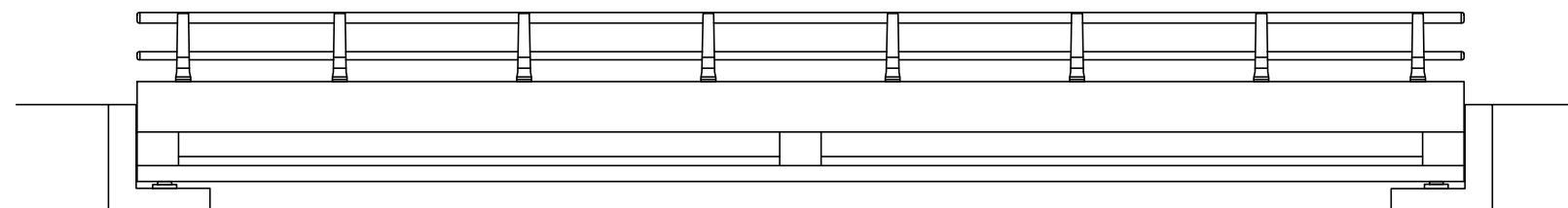


平面図



令和 8 年度	
工 事 名	令和6年災 第9921号外 市道深田栃木線 一本松橋外 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 深田栃木線 外
箇 所	輪島市門前町深田 外 地内
図 名	登間佐橋 橋梁一般図
縮 尺	図 示
図面番号	10 / 23 枚の内
輪 島 市	

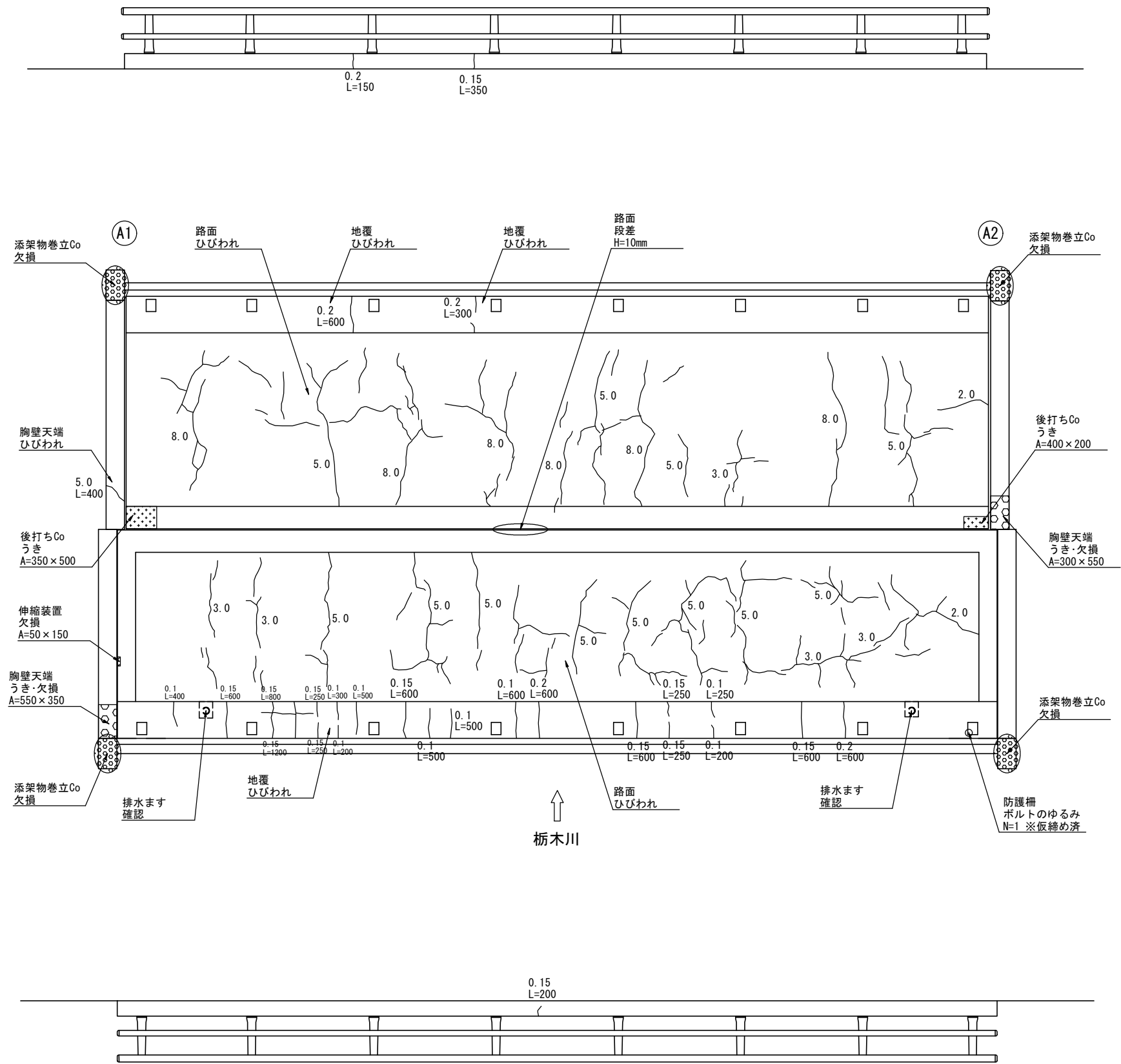
上部工損傷図



令和 8 年度	
工 事 名	令和6年災 第9921号外 市道深田橋本線 一本松橋外 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 深田橋本線 外
箇 所	輪島市門前町深田 外 地内
図 面	登間佐橋 損傷図(1)
縮 尺	S=1:40
図面番号	11 / 23 枚の内
輪 島 市	

登間佐橋 損傷図(3)
橋面損傷図

S=1:40



凡 例		
ひびわれ	0.2mm未満	
	0.2mm以上1.0mm未満	
	1.0mm以上	
	遊離石灰	
漏水、滞水		
鉄筋露出		
剥 離		
腐食、防食機能の劣化		
変形、欠損		
豆 板		
遊離石灰		
うき		
その他損傷		
補修跡		

令和 8 年度	
工 事 名	令和6年災 第9921号外 市道深田栃木線 一本松橋外 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 深田栃木線 外
箇 所	輪島市門前町深田 外 地内
図 面	登間佐橋 損傷図(3)
縮 尺	S=1:40
図面番号	13 / 23 枚の内
輪 島 市	

登間佐橋 補修図(1)

上部工補修図

S=1:40

上部工：桁下面
断面修復工 集計表

	番号	記号	範囲X (mm)	範囲Y (mm)	範囲T (mm)	V(cm3)	備考
A1-A2径間	1	U	130	3200	50	20800	
	2	Ha	120	100	50	600	
	3	Ha	50	100	50	250	
	4	U	3200	400	50	64000	
	5	T	2700	300	50	40500	
	6	U	120	2000	50	12000	
	7	T	2800	200	50	28000	
	8	U	400	70	50	1400	
	9	U	400	100	50	2000	
	10	T	1200	400	50	24000	
	11	U	650	100	50	3250	
	12	T	950	100	50	4750	
	13	U	700	100	50	3500	
	14	Ha	200	100	50	1000	
	15	T	80	50	60	240	
	16	Ha	250	1200	50	15000	
	17	Ha	560	800	50	22400	
	18	U	50	1300	50	3250	
合計							
桁下面			A1-A2径間			246940.0	cm3
						0.247	m3

上部工：桁下面
ひびわれ注入工 集計表

番号	w (mm)	L (mm)	H (mm)	V (cm3)
1	0.25	550	30	4.1
2	0.30	650	30	5.9
3	0.25	300	30	2.3
4	0.20	300	30	1.8
5	0.25	400	30	3.0
6	0.25	500	30	3.8
7	0.25	650	30	4.9
8	0.20	400	30	2.4
9	0.30	600	30	5.4
10	0.20	350	30	2.1
11	0.20	700	30	4.2
12	0.20	550	30	3.3
13	0.30	150	30	1.4
14	0.20	200	30	1.2
15	0.20	400	30	2.4
合計		6,700		48.2

凡 例	補修種類	表示
	ひび割れ注入工	①
	ひび割れ充填工	△
	断面修復工	0

注) 断面修復部損傷は箇所ごとに深さを確認してから施工すること

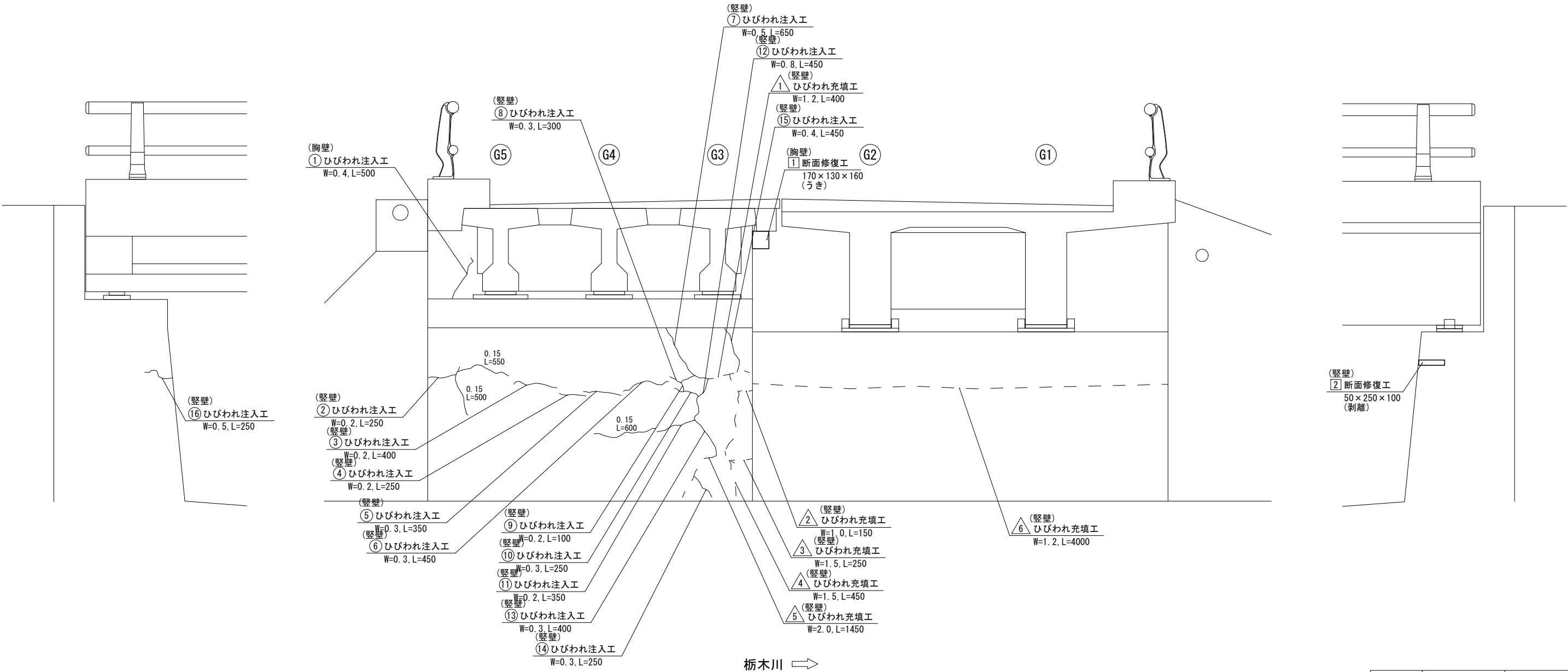
令和 8 年度	
工 事 名	令和6年災 第9921号外 市道深田栃木線 一本松橋外 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 深田栃木線 外
箇 所	輪島市門前町深田 外 地内
図 名	登間佐橋 補修図(1)
縮 尺	S=1:40
図面番号	14 / 23 枚の内
輪 島 市	

登間佐橋 補修図(2)

S=1:20

下部工補修図(1)

A1橋台



栃木川 →

下部工:A1橋台
ひびわれ注入工 集計表

番号	w (mm)	L (mm)	H (mm)	V (cm3)
1	0.40	500	70	14.0
2	0.20	250	70	3.5
3	0.20	400	70	5.6
4	0.20	250	70	3.5
5	0.30	350	70	7.4
6	0.30	450	70	9.5
7	0.50	650	70	22.8
8	0.30	300	70	6.3
9	0.20	100	70	1.4
10	0.30	250	70	5.3
11	0.20	350	70	4.9
12	0.80	450	70	25.2
13	0.30	400	70	8.4
14	0.30	250	70	5.3
15	0.40	450	70	12.6
16	0.50	250	70	8.8
合計		5,650		144.5

下部工:A1橋台
ひびわれ充填工 集計表

番号	w (mm)	L (mm)	H (mm)	V (cm3)
1	1.20	400	70	33.6
2	1.00	150	70	10.5
3	1.50	250	70	26.3
4	1.50	450	70	47.3
5	2.00	1,450	70	203.0
6	1.20	4,000	70	336.0
合計		6,700		656.7

下部工:A1橋台
断面修復工 集計表

A1橋台	番号	記号	範囲X (mm)	範囲Y (mm)	範囲T (mm)	V (cm3)	備考
	1	U	170	130	160	3536	
合計	2	Ha	50	250	100	1250	
下部工			A1橋台			4786.0	cm3
						0.005	m3

凡 例	補修種類	表示
	ひび割れ注入工	①
	ひび割れ充填工	△
	断面修復工	□

注)断面修復部損傷は箇所ごとに深さを確認してから施工すること

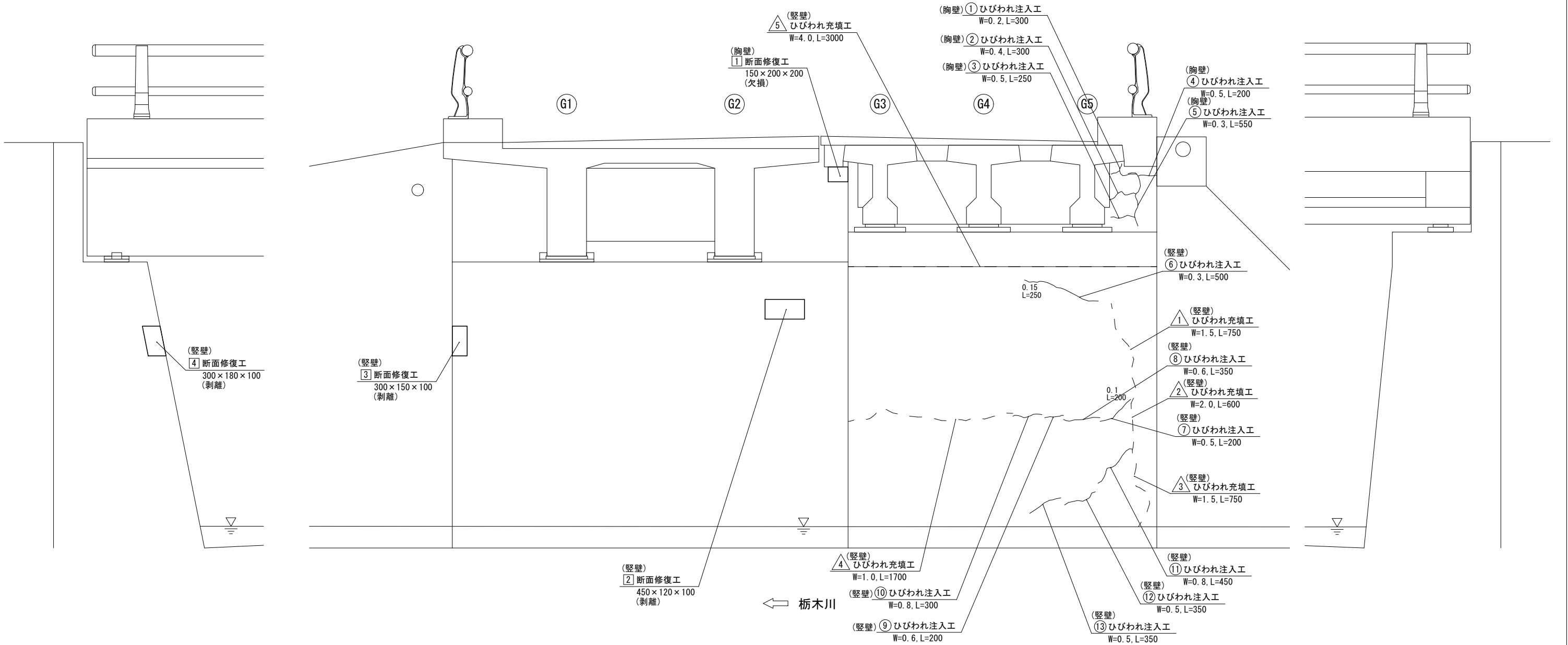
令和 8 年度	
工 事 名	令和6年災 第9921号外 市道深田栃木線 一本松橋外 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 深田栃木線 外
箇 所	輪島市門前町深田 外 地内
図 名	登間佐橋 補修図(2)
縮 尺	S=1:20
図面番号	15 / 23 枚の内
輪 島 市	

登間佐橋 補修図(3)

S=1:20

下部工補修図(2)

A2橋台



下部工：A2橋台
ひびわれ注入工 集計表

番号	w (mm)	L (mm)	H (mm)	V (cm3)
1	0.20	300	70	4.2
2	0.40	300	70	8.4
3	0.50	250	70	8.8
4	0.50	200	70	7.0
5	0.30	550	70	11.6
6	0.30	500	70	10.5
7	0.50	200	70	7.0
8	0.60	350	70	14.7
9	0.60	200	70	8.4
10	0.80	300	70	16.8
11	0.80	450	70	25.2
12	0.50	350	70	12.3
13	0.50	350	70	12.3
合計		4,300		147.2

下部工：A2橋台
ひびわれ充填工 集計表

番号	w (mm)	L (mm)	H (mm)	V (cm3)
1	1.50	750	70	78.8
2	2.00	600	70	84.0
3	1.50	750	70	78.8
4	1.00	1,700	70	119.0
5	4.00	3,000	70	840.0
合計		6,800		1,200.6

下部工：A2橋台
断面修復工 集計表

A2橋台	番号	記号	範囲X (mm)	範囲Y (mm)	範囲T (mm)	V (cm3)	備考
	1	K	150	200	200	6000	
	2	Ha	450	120	100	5400	
	3	Ha	300	150	100	4500	
	4	Ha	300	180	100	5400	
合計						21300.0	cm3
下部工			A2橋台			0.021	m3

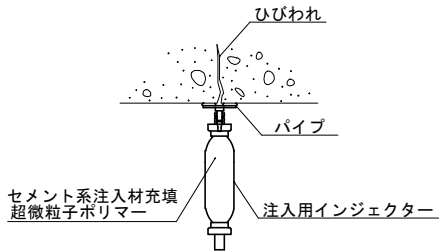
凡 例	補修種類	表示
	ひび割れ注入工	①
	ひび割れ充填工	△
	断面修復工	□

注) 断面修復部損傷は箇所ごとに深さを確認してから施工すること

令和 8 年度	
工 事 名	令和6年災 第9921号外 市道深田栃木線 一本松橋外 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 深田栃木線 外
箇 所	輪島市門前町深田 外 地内
図 名	登間佐橋 補修図(3)
縮 尺	S=1:20
図面番号	16 / 23 枚の内
輪 島 市	

登間佐橋 補修工詳細図(参考図)

ひびわれ注入工詳細図



注記

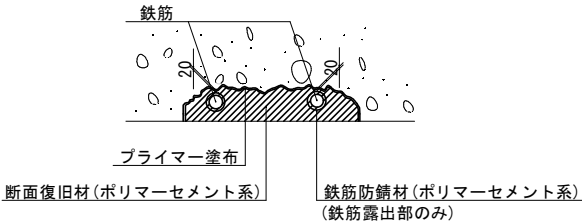
- ・0.2mm以上のひび割れを補修対象とする。
- ・注入材料は「注入材性能表」に示す性能を満足すること。
- ・施工は自動式低圧樹脂注入工法とし、低圧注入器具の設置間隔は30cm程度とする。
- ・施工時にひび割れ注入箇所を再度確認すること。

注入材性能表

材料の種類	
項 目	土木補修用充てん材 ポリマーセメント系
ひび割れ進行度区分	B(ひび割れの進行が止まった)
ひび割れ幅(mm)	0.2 ～ 1.0
粘度 (mPa・s)	10000以下
可使時間(分)	30以上
硬化時間(時間)	16以内
硬化収縮(%)	0.1以下
伸び率(%)	－
モルタル付着強さ [乾燥面] (N/mm ²)	6以上
付着力耐久性保持率 [規格に対する百分率] (%)	60以上

※コンクリートのひび割れ調査, 補修・補強指針-2022- P128より

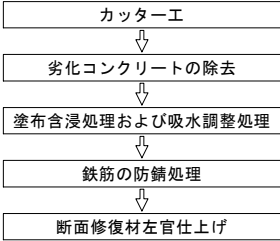
断面修復詳細図



注記

- ・劣化コンクリートをはつとり、鉄筋露出部は鉄筋背面まで20mm程度まで露出させて防錆処理を施し断面修復を行う。
- ・修復材料は「断面修復材性能表」に示す性能を満足すること。
- ・補修材の圧縮強度は母部材16.0N/mm²以上、付着強度1.5N/mm²以上を確保すること。
- ・はつる範囲には、カッター目地を10mm程度入れて、フェザーエッジにならないように注意すること。
- ・施工時に、補修箇所(寸法等)を再度確認すること。
- ・鉄筋防錆材を塗布する前に鉄筋表面の錆を除去すること。
- ・鉄筋防錆材を塗布する際は、塗り残しのないように入念に塗布すること。
- ・修復材は十分硬化したうえで次層を塗り重ねること。
- ・露出させた鉄筋の背面まで入念に埋め戻すこと。

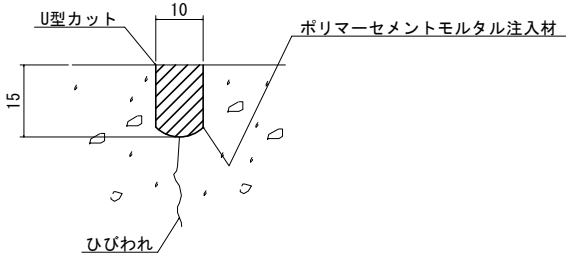
断面修復工フロー



要求性能	設計及び施工条件
圧縮強度	躯体コンクリートと同様な強度特性を有すること (16.0N/mm ² 以上)
付着強度	躯体コンクリートと一体となること (1.5N/mm ² 以上)

ひび割れ充填工詳細図

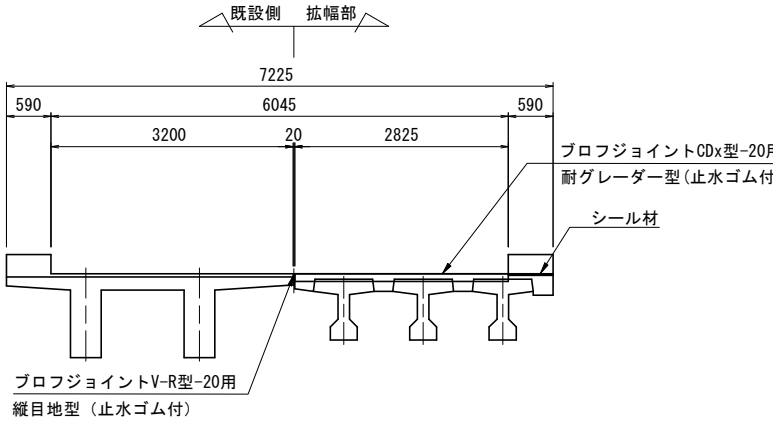
(ひびわれ幅1.0mm以上)



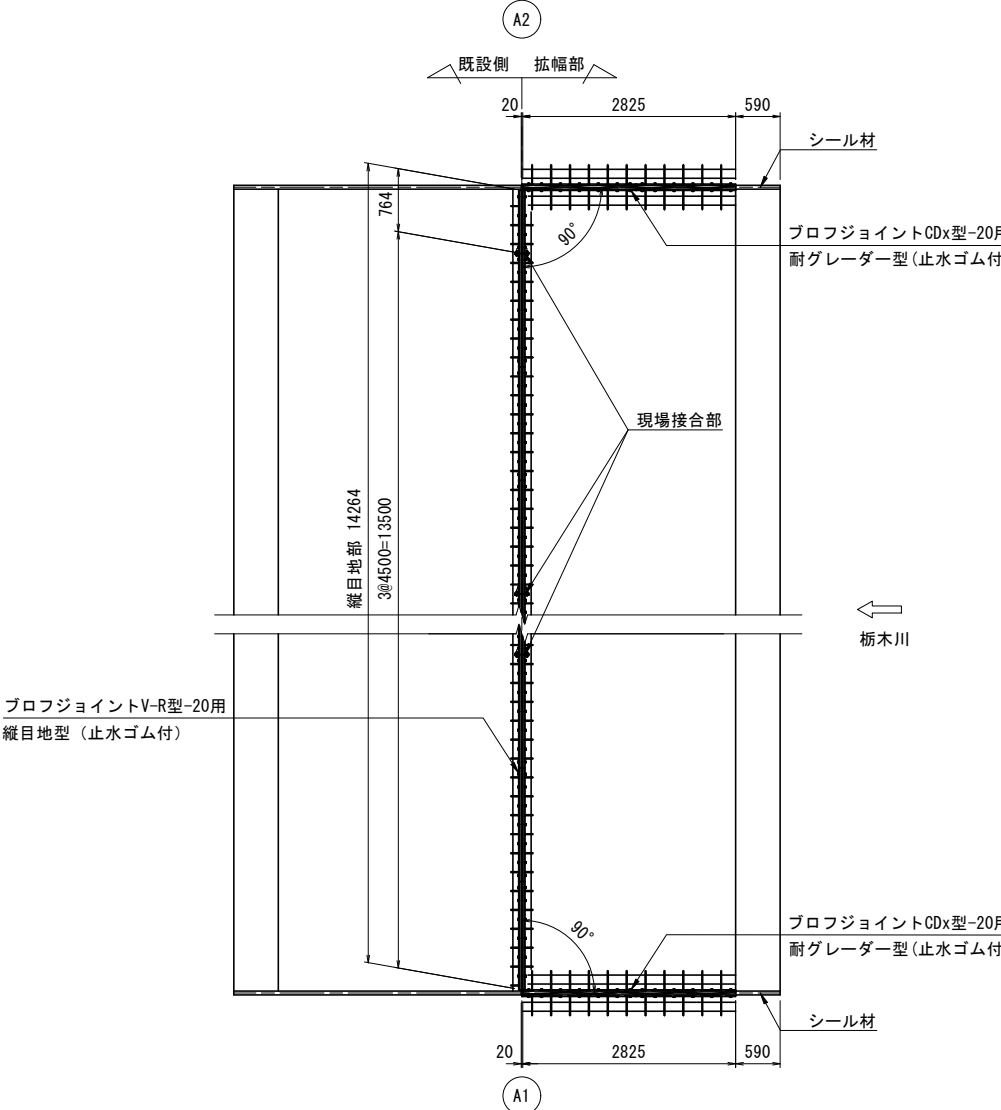
令和 8 年度	
工 事 名	令和6年災 第9921号外 市道深田橋本線一本松橋外 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 深田橋本線 外
箇 所	輪島市門前町深田 外 地内
図 名	登間佐橋 補修工詳細図(参考図)
縮 尺	NO SCALE
図面番号	17 / 23 枚の内
輪 島 市	

登間佐橋 伸縮継手詳細図

断面図 S = 1:50



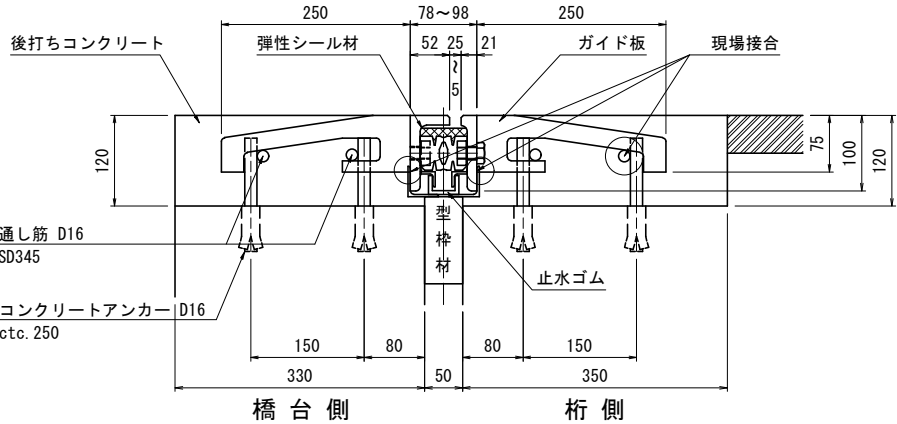
平面图 S = 1:50



※現場接合部は、パッキンに接着剤を塗布し接合すること
また、指定範囲に溶接を施すこと。

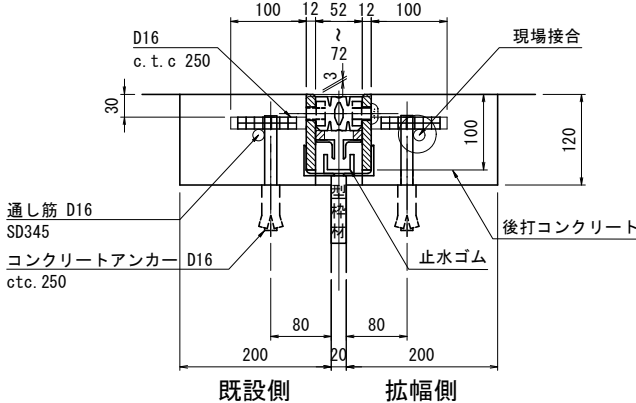
伸縮継手断面図 $S = 1$:

ブロフジョイントCDx型-20用
耐グレーダー型（止水ゴム付）

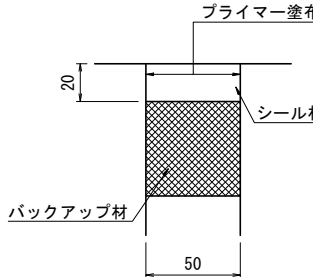


※ ガイド版は車両進行方向に設置する

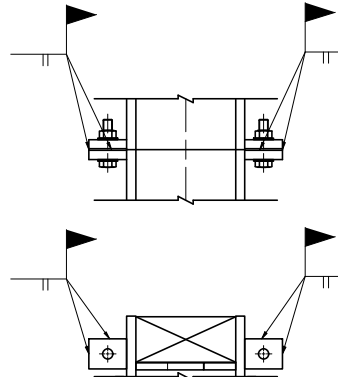
縦目地型（止水ゴム付）



シール材充填図 $s = 1:2$



縦目地部現場接合部詳細 ブロージョイントV-R型



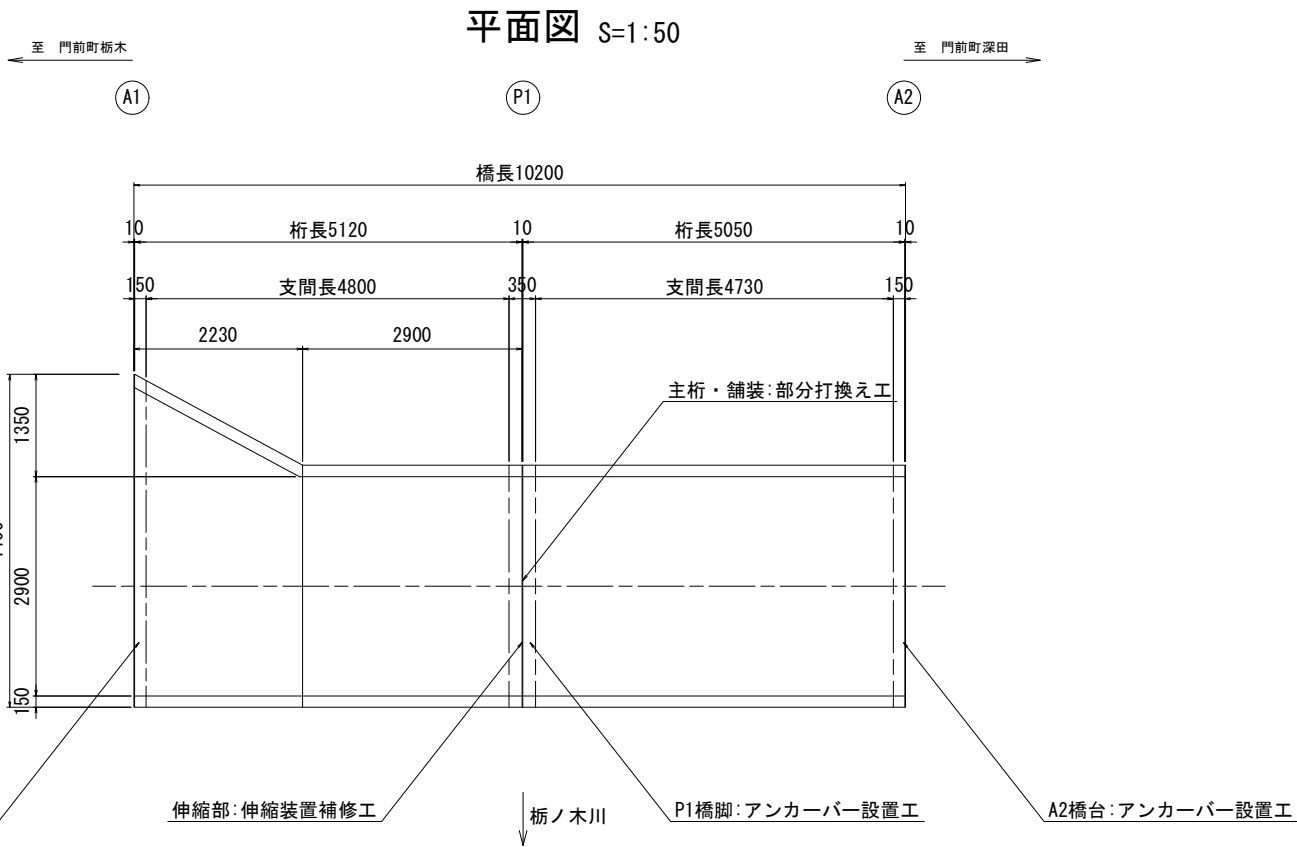
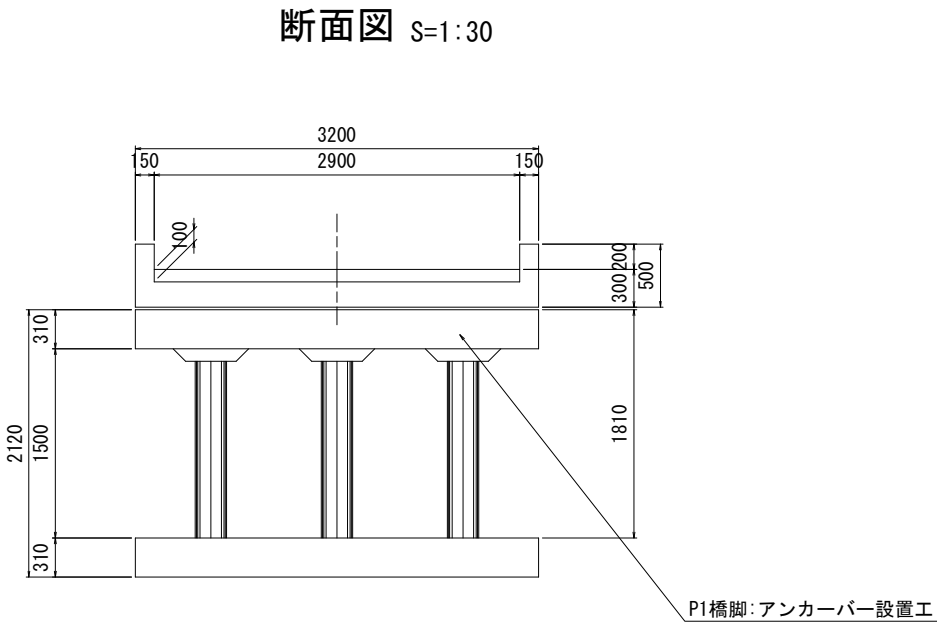
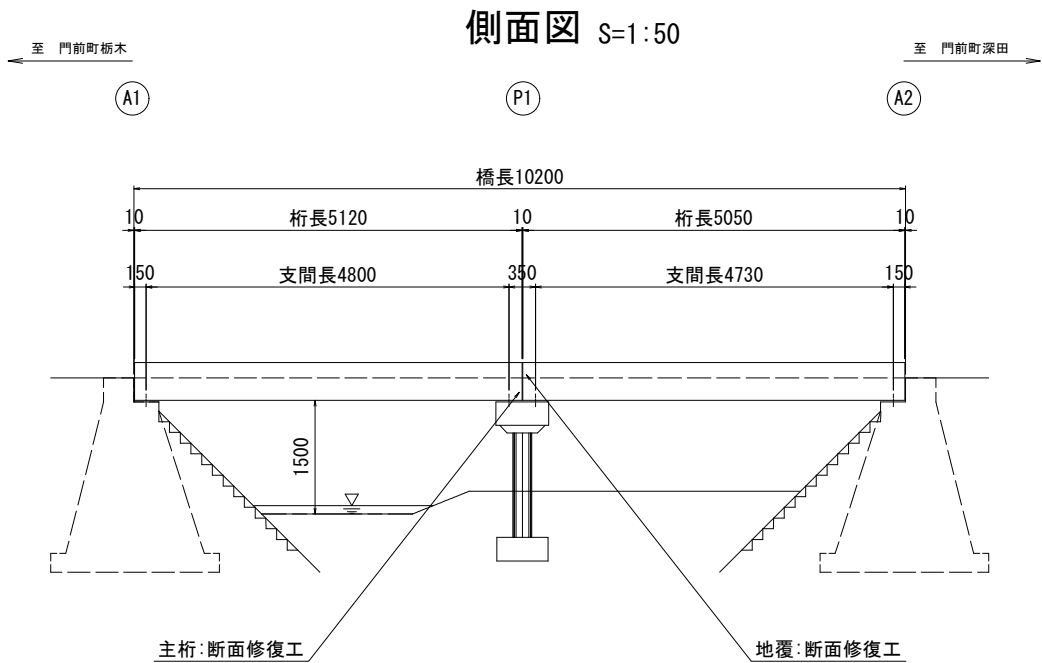
伸縮継手材料表

名 称	材 質	A1数量	A2数量	縦目地部	合計数量	備 考
プロフジョイントCDx型-20用	SS400 合成ゴム 弾性シール	2.825 m	2.825 m		5.650 m	耐グレーダー型(止水ゴム付)
プロフジョイントV-R型-20用	SS400 合成ゴム SD345			14.264 m	14.264 m	縦目地型(止水ゴム付)
シール材	シリコン系	0.59 リットル	0.59 リットル		1.18 リットル	
後打コンクリート		0.231 m3	0.231 m3	0.685 m3	1.147 m3	超速硬コンクリート
コンクリートアンカー		48 本	48 本	116 本	212 本	
通し筋	SD345	4 本	4 本		8 本	D16x2825
〃	〃			2 本	2 本	D16x14264
排水パイプ	ステンレス	1 本	1 本	2 本	4 本	15Ax5000
V-R型用接着剤(縦目地)				1 式	1 式	20用

注) 伸縮継手長さは、現地測量後決定する事。
注) 既設伸縮継手の後打ちコンクリートは撤去する事。
注) カッター幅及びはつり深さは、現地確認の上、決定の事。
注) 排水パイプは、現地測量のうえ決定する事。現地状況により設置困難な場合は、施主と相談の上設置の有無を決定する事。

令和 8 年度	
工 事 名	令和6年災 第9921号外 市道深田橋本線 一本松橋外 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 深田橋本線 外
箇 所	輪島市門前町深田 外 地内
図 名	登間佐橋 伸縮経手詳細図
縮 尺	図 示
図面番号	18 / 23 枚の内
輪 島 市	

箱田橋 橋梁一般図(補修工)

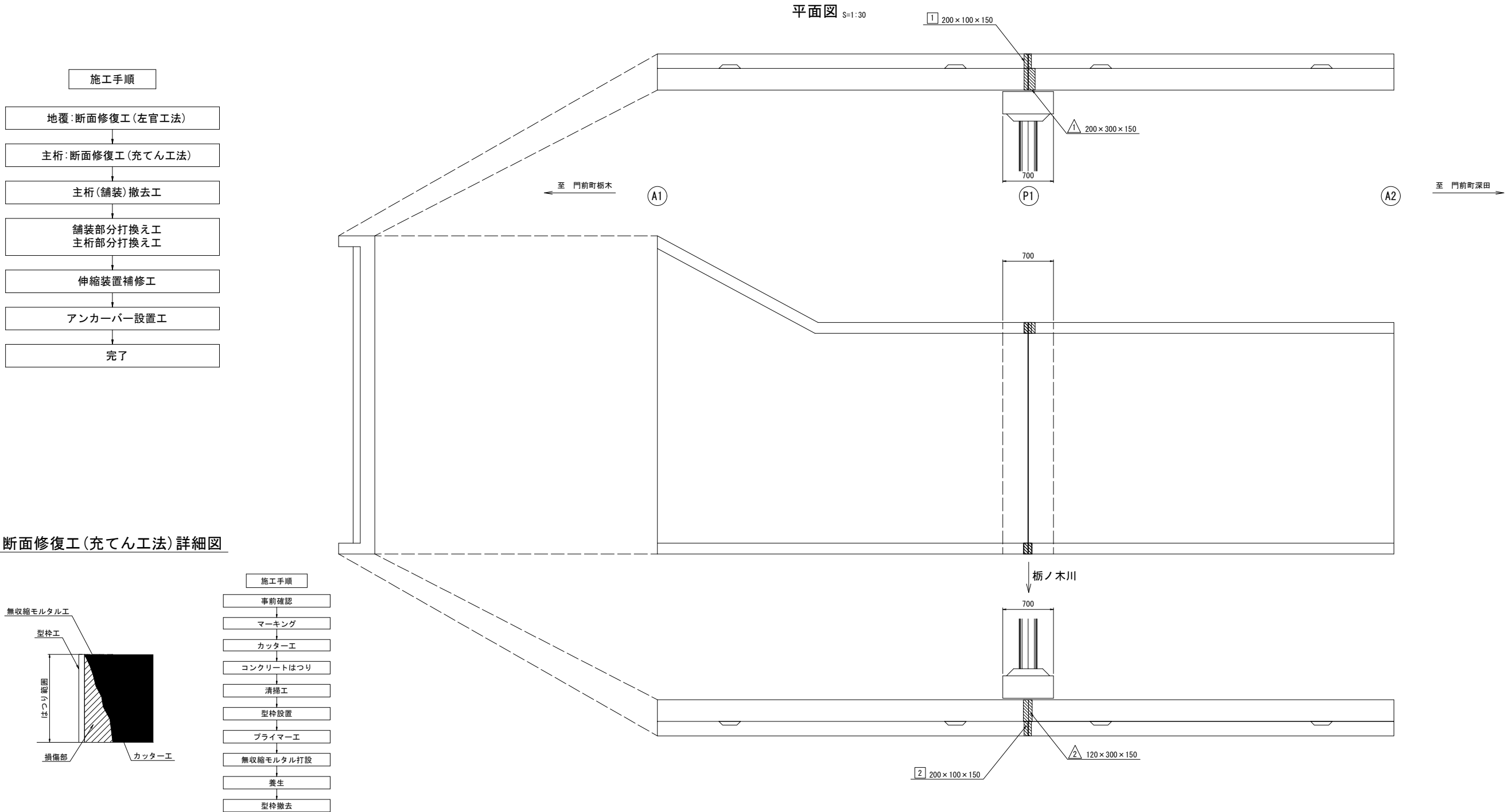


補修概要	
主桁	部分打換え工, 断面修復工
舗装	部分打換え工
地覆	断面修復工
伸縮装置	伸縮装置補修工
下部工	アンカーバー設置工

橋 梁 諸 元		
橋 梁 名		箱田橋(はこだばし)
路 線 名		市道 栃木線
架 橋 場 所		輪島市門前町栃木尾 地内
交 差 物 件		栃木川
架 設 年 月		昭和38年(1963年)
ト ポ グ ラ フィ ー	設計 荷重	2等橋(TL-14)
	適用示方書	不明
	構造 形式	2径間 R C 中実床版橋
	橋 長	L=10. 2m
	桁 長	L=5. 12m + 5. 05m
	幅員 構成	0. 15m+2. 90m+0. 15m=3. 20m
ト ポ グ ラ フィ ー	橋台 形式	重力式橋台
	橋脚 形式	パイルベント橋脚
	基礎 形式	不明

令和8年度	
工事名	令和6年災 第9921号外 市道深田栃木線 一本松橋外 橋梁災害復旧工事
路線名	市道 深田栃木線 外
箇所	輪島市門前町深田 外 地内
図名	箱田橋 橋梁一般図(補修工)
縮尺	図示
図面番号	19 / 23 枚の内
輪島市	

橋梁補修工(断面修復工) 詳細図



△断面修復工(充てん工法)補修数量

位置	No.	箇所数	延長(mm)	幅(mm)	深さ(mm) (想定)	補修面積 (m2)	補修体積 (m3)
主桁	1	1	200	300	150	0.060	0.0090
	2	1	120	300	150	0.036	0.0054
合計							0.0144

□左官工法(鉄筋露出有り) 補修数量

位置	No.	箇所数	延長(mm)	幅(mm)	深さ(mm) (想定)	補修面積 (m2)	補修体積 (m3)
地覆	1	1	200	100	150	0.020	0.0030
	2	1	200	100	150	0.020	0.0030
合計							0.0060

補修数量

工種・種別	細 別	規 格	数量	単位
断面修復工	充てん工法	はつり工	0.02	m3
		型枠工(一般型枠)	0.10	m2
		無収縮モルタル工	0.02	m3

凡 例			記号
	断面修復工	左官工法(鉄筋露出有り)	
	断面修復工	充てん工法	

注記

※1. 施工前に現地寸法、補修範囲及び数量を確認し、協議のうえ施工すること。

※2. 断面修復工のカッター工は現地確認のうえ、作業の有無を決定し、鉄筋を傷つけない様に留意すること。

※3. 断面修復時、左官工法による左官作業は既設コンクリート面(はつり面)にプライマーを塗布し、空隙が残らないように施工すること。

なお、かぶり不足箇所は厚塗りをするなど、かぶり厚さ30mmを確保すること。

※4. 断面修復工で重ね塗りをを行う場合は重ね塗りの時間間隔や断面修復部の凝結状態などを考慮して行うこと。

※5. 使用する断面修復材は、設計基準強度40N/mm2以上の強度の修復材を使用すること。

※6. 充てん工法を左官工法に変更する際は、協議のうえ施工すること。

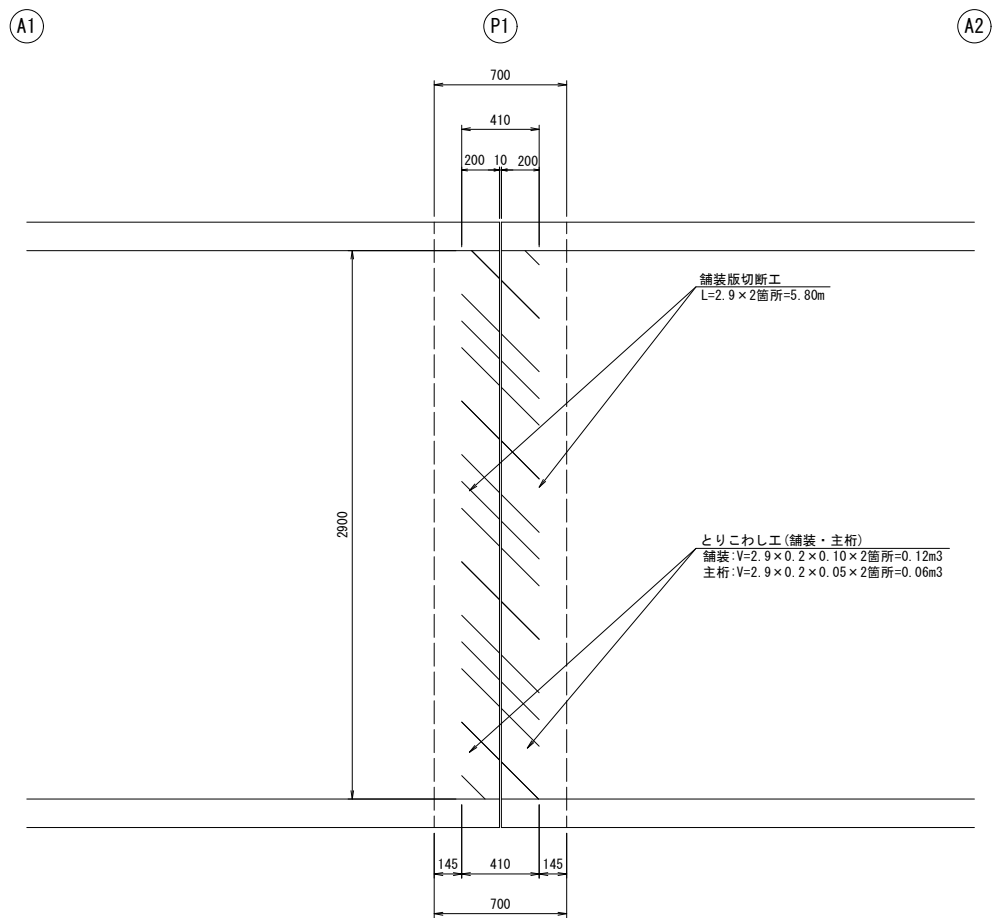
※7. 気象状況の把握に努め、悪天候時に作業の中止等の判断すること。

令和 8 年度	
工 事 名	令和6年災 第9921号外 市道深田栃木線 一本松橋外 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 深田栃木線 外
箇 所	輪島市門前町深田 外 地内
図 名	箱田橋 橋梁補修工(断面修復工) 詳細図
縮 尺	図 示
図面番号	20 / 23 枚 の 内
輪 島 市	

橋梁補修工(主桁部分打換工)・舗装工(舗装部分打換工) 詳細図

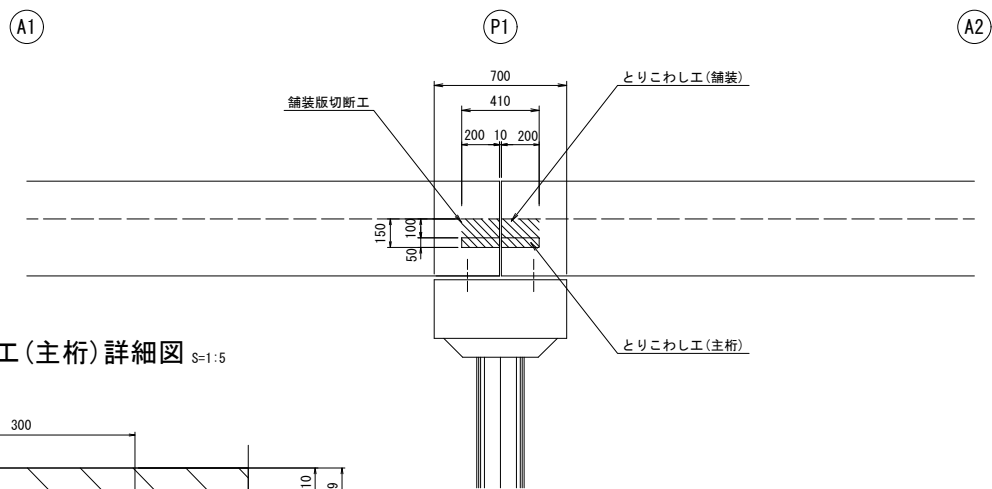
主桁(舗装)撤去工

平面図 S=1:20

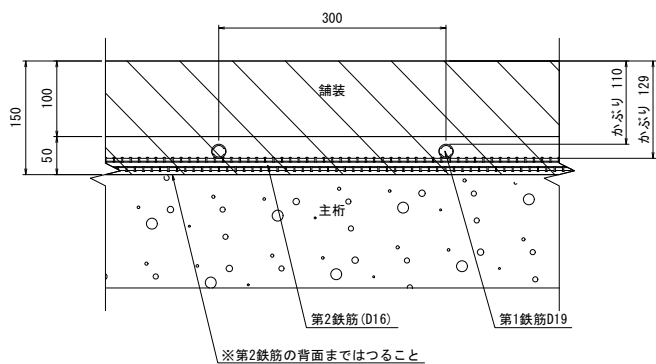


橋ノ木川

側面図 S=1:20



とりこわし工(主桁)詳細図 S=1:5

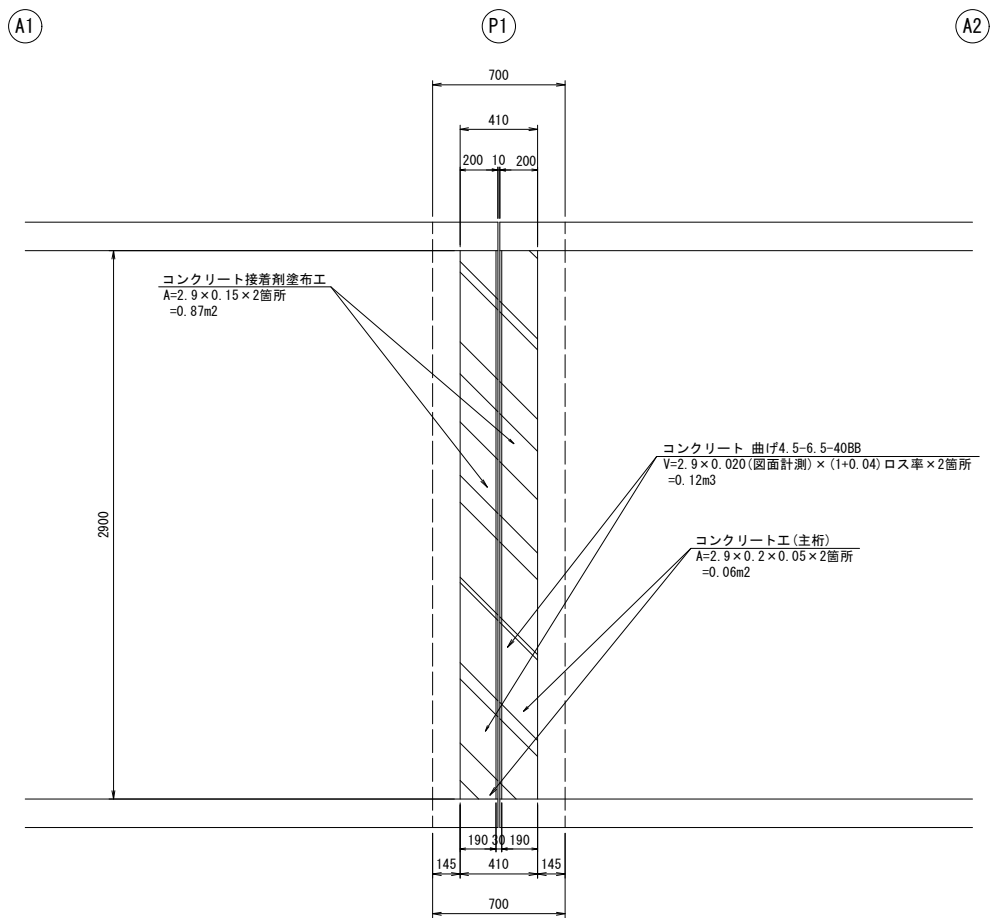


補修数量

工種・種別	細別	規格	数量	単位
橋梁補修工・舗装工	舗装切断工	コンクリート舗装 t=100	5.80	m
	とりこわし工	コンクリート舗装 t=100, 主桁 t=50	0.18	m³
	舗装部分打換工	コンクリート工(曲げ4.5-6.5-40BB)	0.12	m³
	コンクリート接着剤塗布工	エポキシ樹脂系プライマー	0.44	kg
	主桁部分打換工	コンクリート工(24-12-25N)	0.06	m³

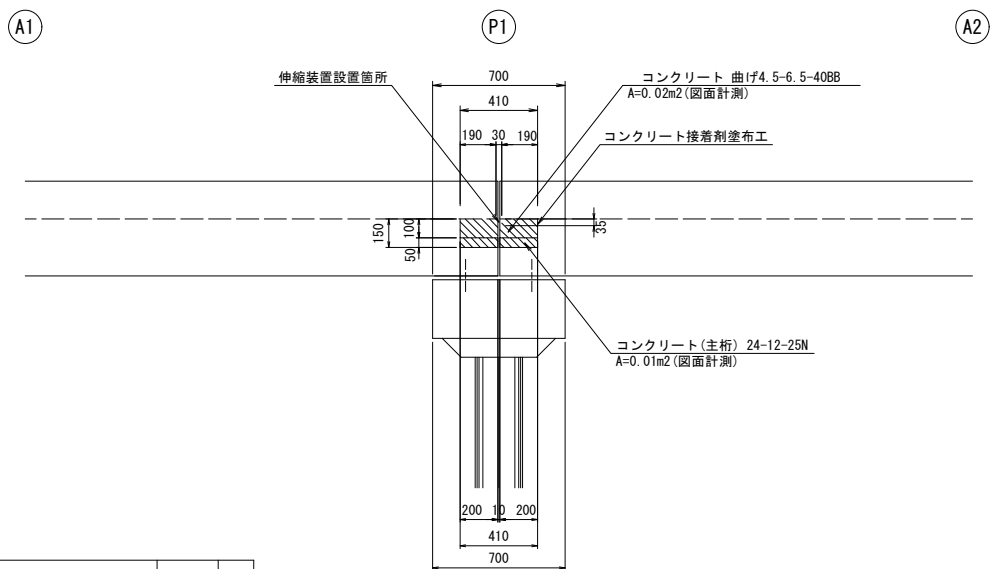
舗装部分打換工・主桁部分打換工

平面図 S=1:20



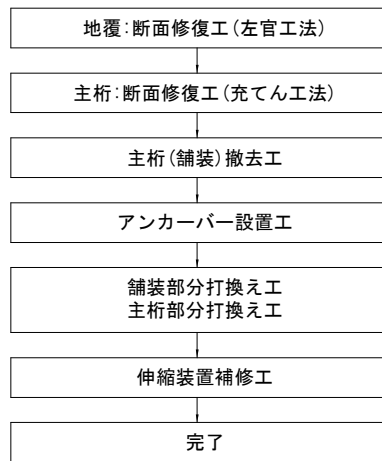
橋ノ木川

側面図 S=1:20



注記
※1. 施工前に現地寸法、補修範囲及び数量を確認し、協議のうえ施工すること。
※2. 図中詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。
※3. 気象状況の把握に努め、悪天候時に作業の中止等の判断すること。
※4. 舗装撤去時、ひび割れ等異常が認められたときは、協議のうえ施工すること。
※5. 車両通行時は、鉄板等の設置を行い、安全に進行できるよう配慮すること。

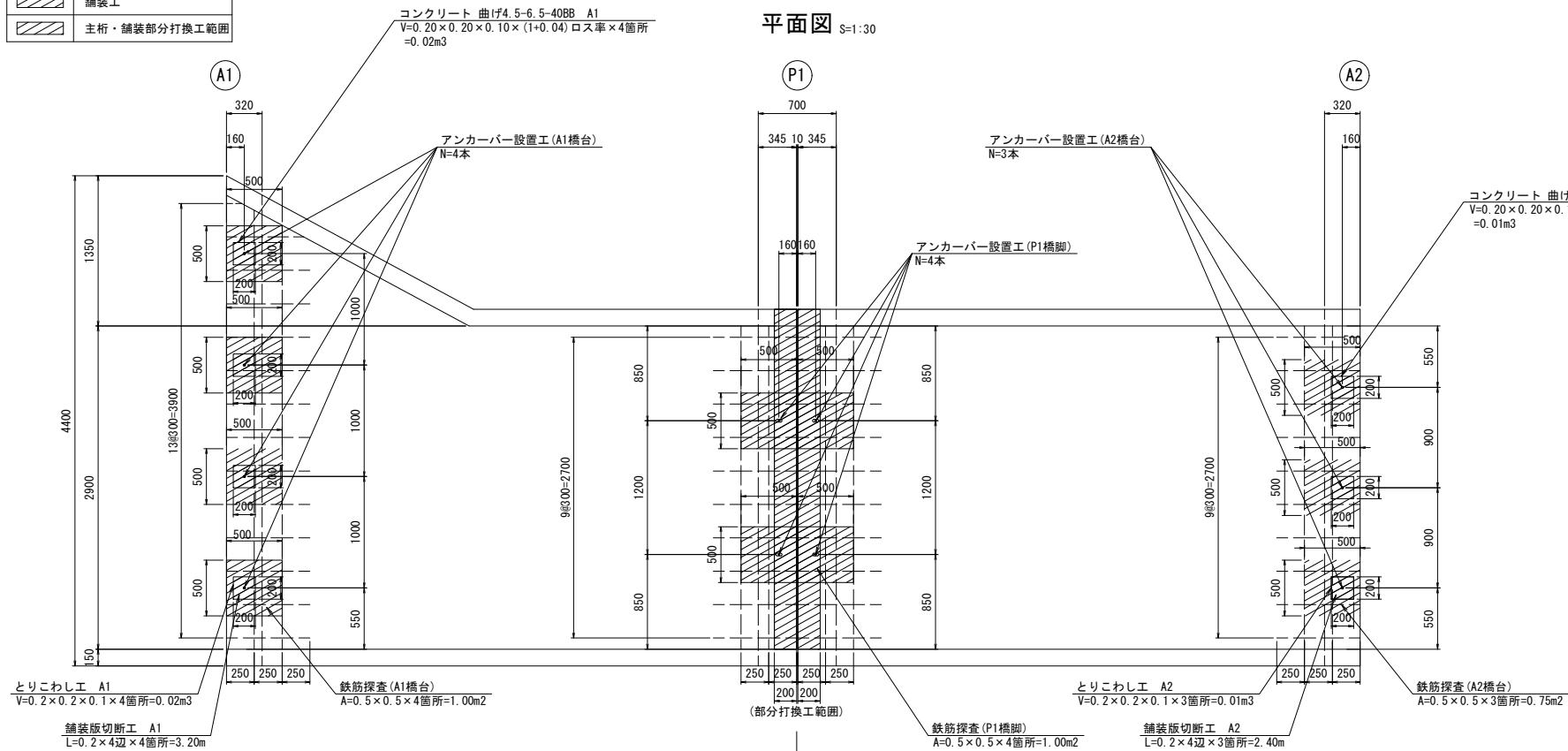
施工手順



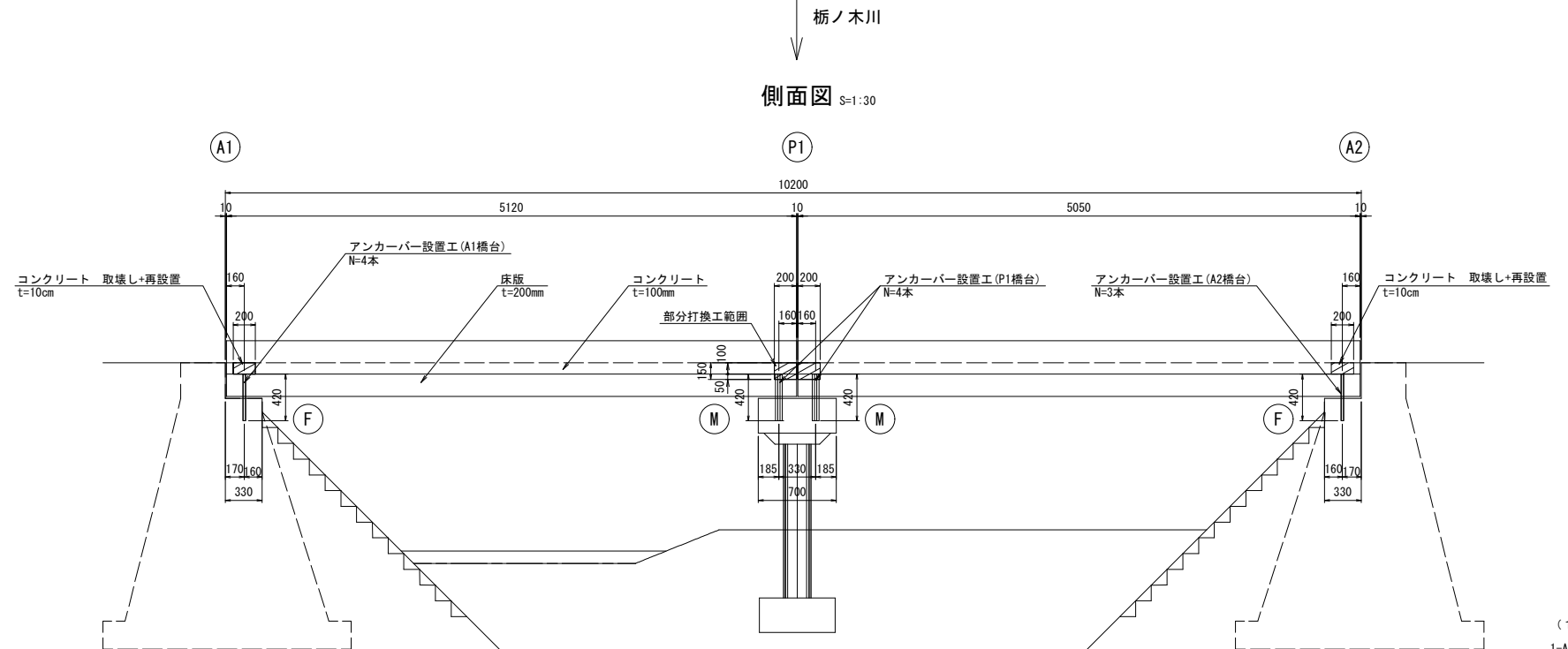
令和 8 年度	
工 事 名	令和6年災 第9921号外 市道深田橋木線 一本松橋外 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 深田橋木線 外
箇 所	輪島市門前町深田 外 地内
図 名	箱田橋 橋梁補修工(主桁部分打換工) 詳細図 箱田橋 舗装工(舗装部分打換工) 詳細図
縮 尺	図 示
図 面 番 号	21 / 23 枚 の 内
輪 島 市	

橋梁付属物工(アンカーバー設置工) 詳細図

凡 例	
	鉄筋探査
	舗装工
	主桁・舗装部分打換工範囲

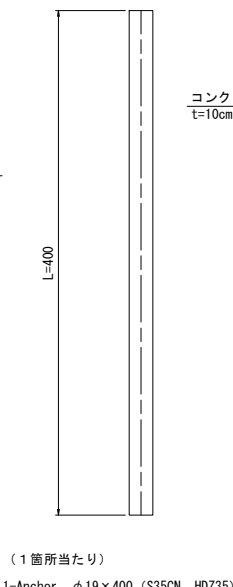


栃ノ木川

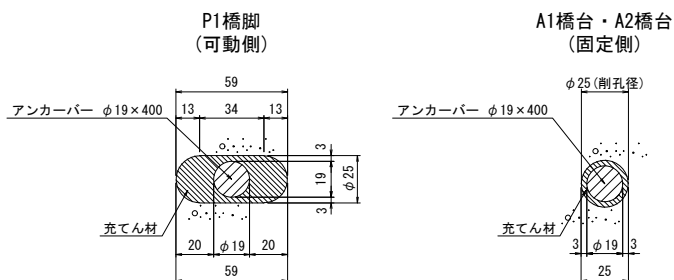


側面図 S=1:30

部材詳細図 S=1:3



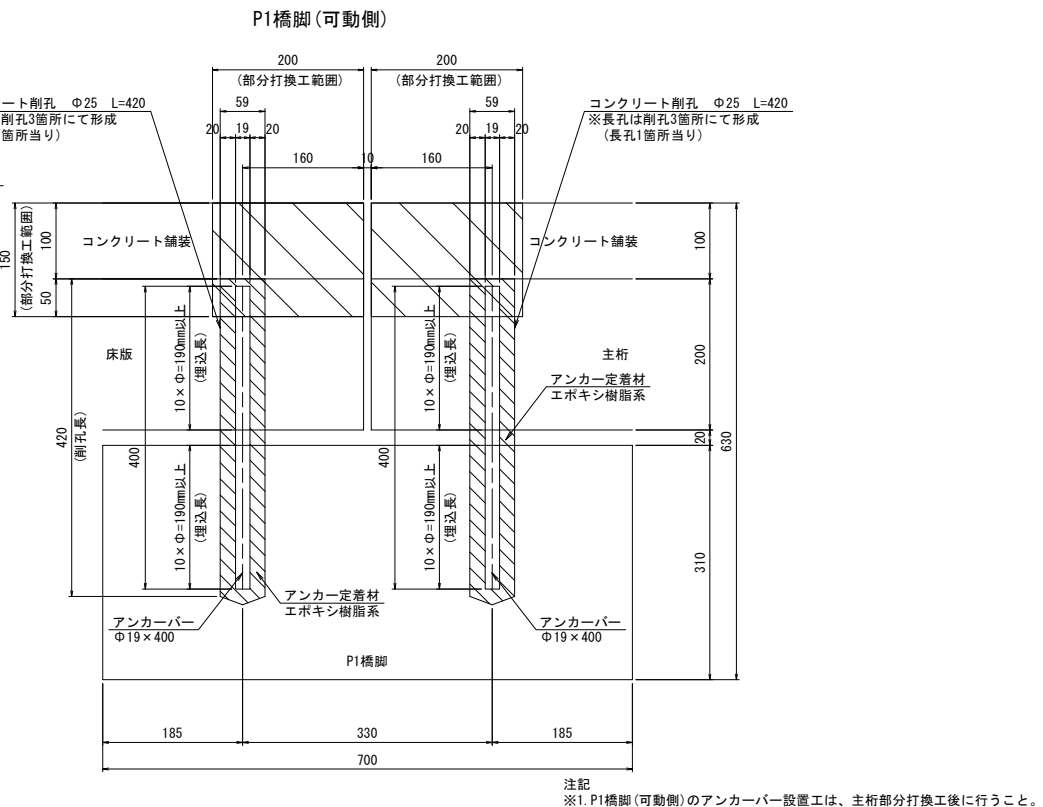
アンカー断面詳細図 S=1:2



P1橋脚
(可動側)

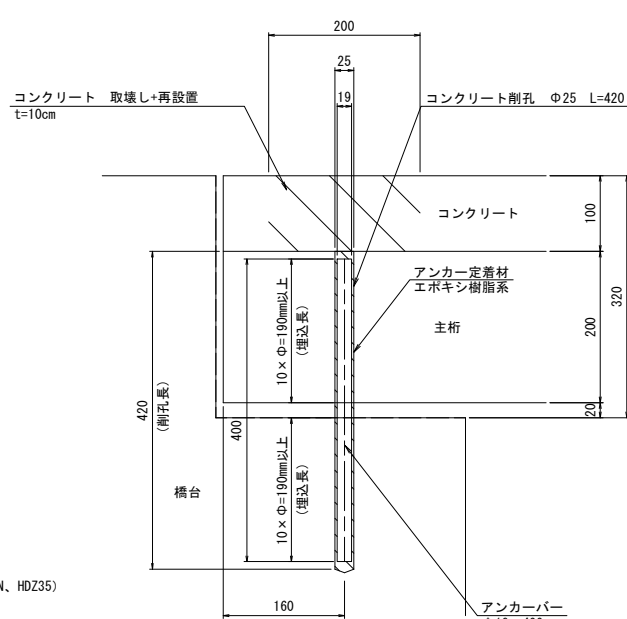
橋台・A2橋台
(固定側)

アンカーバー詳細図 S=1:5

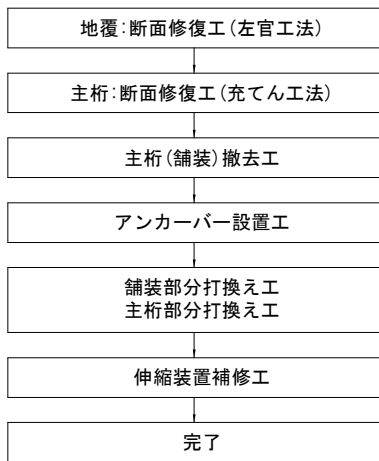


P1橋脚(可動側)

A1橋台・A2橋台(固定側)



施工手順

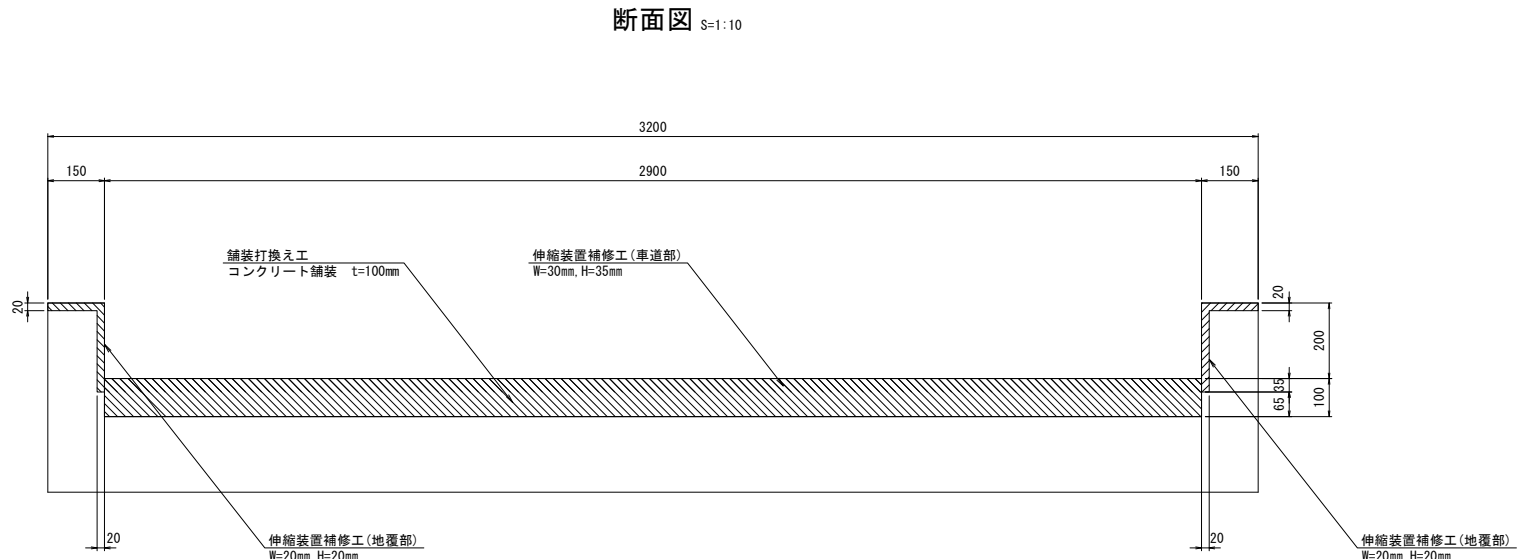
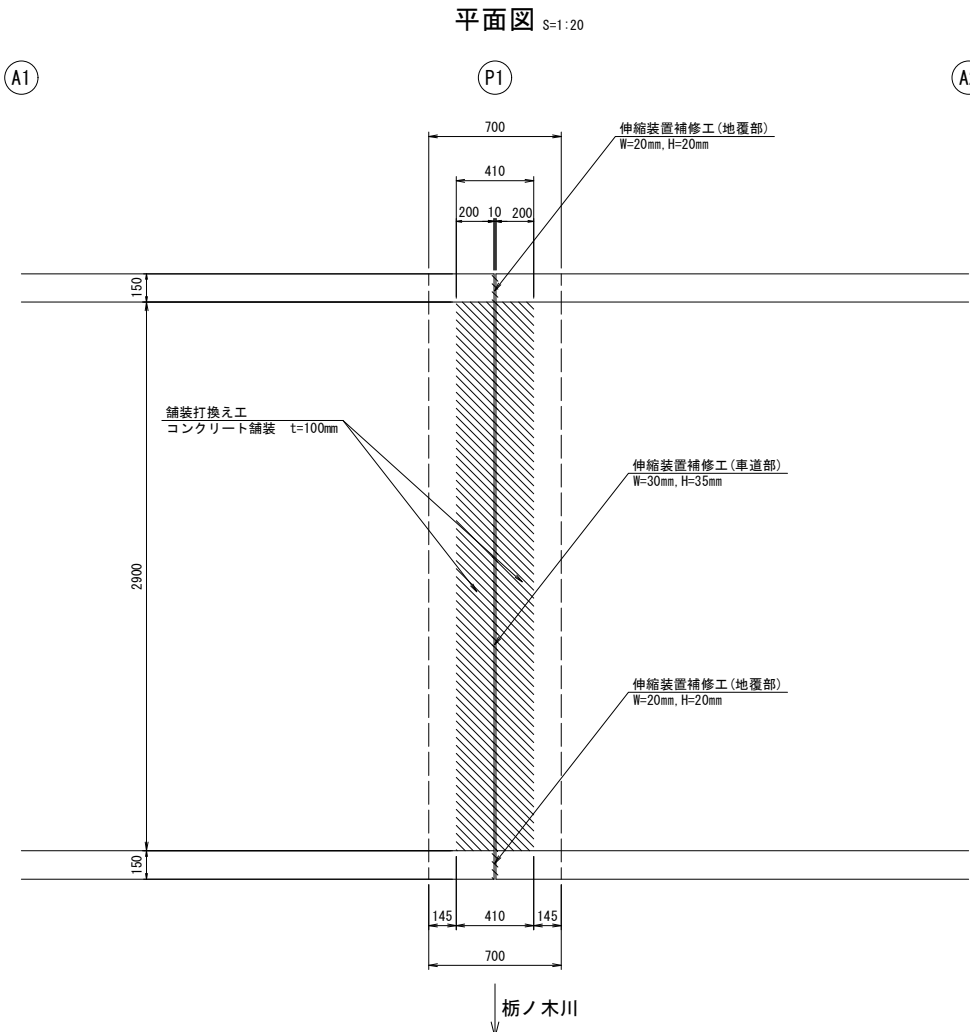


補修数量				
工程・種別	細 別	規 格	数量	単位
橋梁付属物工	アンカーバー設置工	アンカー工	11	本
		アンカーバー φ19×400	11	本
		コンクリート削孔(削孔径φ25 削孔長420mm)	19	箇所
		アンカー定着材(エポキシ樹脂系)	3.32	kg
		鉄筋探索	2.75	m2
		舗装切断工 t=100	5.60	m
		とりこわし工 t=100	0.03	m3
		コンクリート工(曲げ4.5-6.5-40BB)	0.03	m3

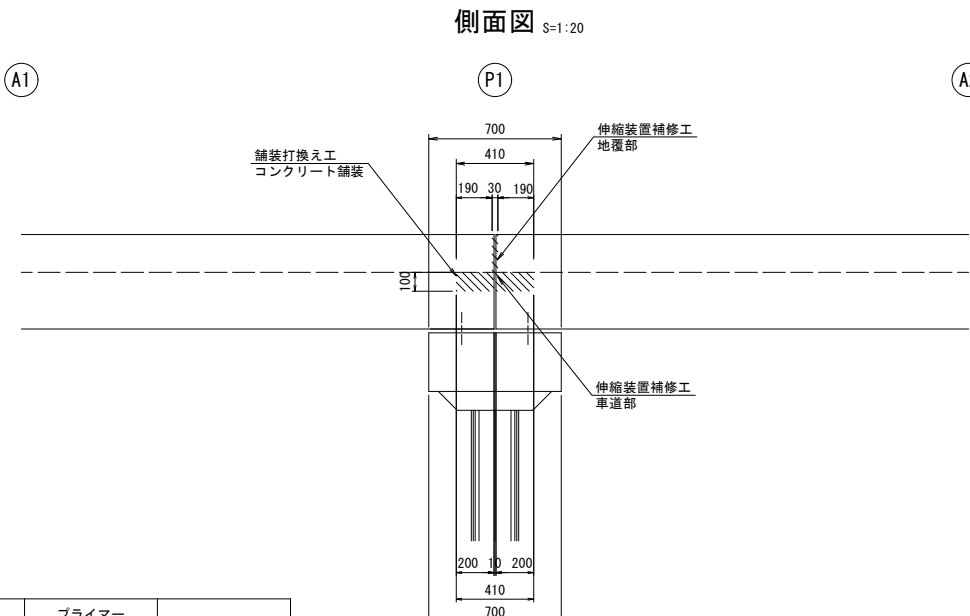
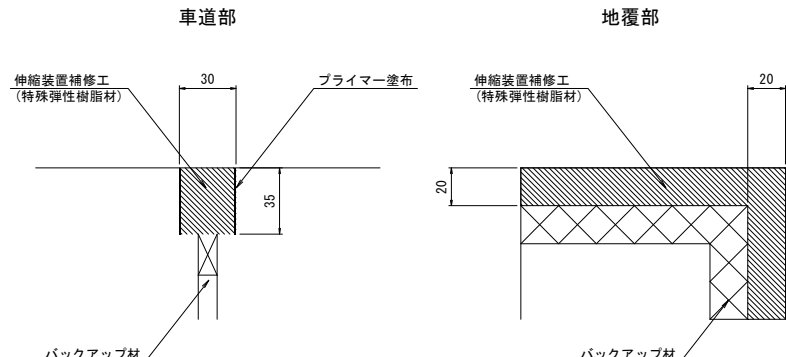
令和 8 年度	
工 事 名	令和6年度 第9921号外 市道深田栃木線 一本松橋外 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 深田栃木線 外
箇 所	輪島市門前町深田 外 地内
図 名	箱田橋 橋梁付属物工(アンカー・壁設置) 詳細図
縮 尺	図 示
図 面 番 号	22 / 23 枚 の 内
輪 島 市	

※1 施工前に現地寸法、補修範囲及び数量を確認し、協議のうえ施工すること。
 ※2 図中詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。
 ※3 気象状況の把握に努め、悪天候時に作業の中止等の判断すること。
 ※4 アンカーナールは、事前に鉄筋探査機などで鉄筋位置を確認し、
 既設鉄筋を切断しないように十分留意する。
 ※5 アンカーバーは溶融亜鉛めっき処理 (HDZ35) とする。
 ※6 アンカーバーは受継縦距離を確保する。
 ※7 アンカーバーの定着長 (埋込長) を確保する。

橋梁付属物工(伸縮装置補修工) 詳細区



伸縮装置補修工 詳細①

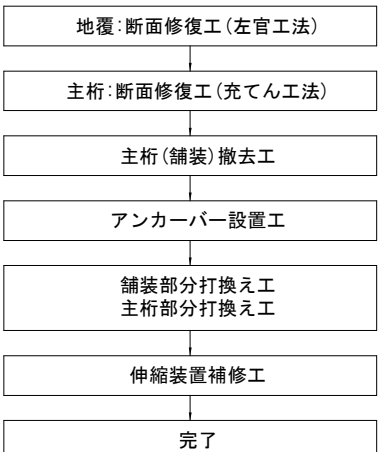


側面図 $S-1:2$

材料表

	幅	厚さ	延長	SMジョイント	プライマー	バックアップ材
				SMシール材 (特殊弾性樹脂材)	1液ウレタン系 プライマー	
地点	(mm)	(mm)	(m)	(L)	(mL)	(m)
P1車道部	30	35	2.9	3.4	31	2.9
P1地覆部	20	20	0.7	0.5	4	0.7
合計			3.6	3.9	35	3.6

施工手順



令和 8 年度	
工 事 名	令和6年度 第9921号外 市道深田栃木線 一本松橋外 橋梁災害復旧工事
路 線 名	市道 深田栃木線 外
箇 所	輪島市門前町深田 外 地内
図 名	箱田橋 橋梁付属物工(伸縮装置補修工) 詳細図
縮 尺	図 示
図 面 番 号	23 / 23 枚 の 内
輪 島 市	

工程表

工程順	工 程	使用材料	用途・備考
1	下地清掃処理	養生テープ、養生シート	既設ゴムや土砂を撤去後、目地の側面をマルチツール、グラインダー（サンダー）等を用いて平滑に仕上げる。 充填箇所の接合面に残った土砂、ゴミ、埃、油分、錆などは接着不良の原因となるため、湿潤している場合は十分に乾燥させる。 側面が金属面に錆がある場合、レーザークーリング等（1種ケレン相当）でケレンを行い、錆を除去する。 コンクリート面に、ひび割れ、くらつき、欠損部がある場合は、事前に補修をしておく。 清掃完了後、充填箇所の周囲を養生テープでマスキングする。
2	プライマー塗布	SMプライマー	原液塗布（塗布量100～200ml/m ² ） 塗り残しがないように均一に塗布する。
3	目地間隙間等、すきま箇所の処理	バックアップ材	間隙、重ね等のすきま箇所については必要に応じて、上から押して凹まないように、きつく埋め込む。スポンジ状のバックアップ材は、設置箇所の幅の約2倍のものを、半分に圧縮して埋め込むようにする。
4	SMシール材充填	主剤、硬化剤、添加剤	事前に、硬化剤の袋の上から、指で押してみても、粒状になっていないかを確認。 粒状になっていたら、事前に50℃程度の温水につけて、溶かしておくこと。 材料は残らないように十分に混ぜ合わせる。
5	表面保護	砂（珪砂5号推奨）または石粉	材料の充填後、表面に散布する。
6	養生テープはずし		シール材塗布面に養生材料が付着しないように、慎重に外すこと。
7	開放		充填完了から1～3時間経過後、開放。 （硬化時間は気温により変動する） 歩道部では、靴による踏み抜きを防ぐため、1～2日間、板を置いて養生する。

※1. 施工前に現地寸法、補修範囲及び数量を確認し、協議のうえ施工すること
 ※2. 図中詳細寸法は現地検測のうえ決定すること。
 ※3. 気象状況の把握に努め、悪天候時に作業の中止等の判断すること。